小児がん拠点病院 現況報告書(新規指定申請書・指定更新申請書)

令和4年9月1日時点について記載 申請区分 令和4年9月1日現在小児がん拠点病院の指定を受けており、令和5年4月1日以降も小児がん拠点病院の指定を希望する (小児がん拠点病院の指定の希望の有無) 九州大学病院 病院名 きゅうしゅうだいがくびょういん よみがな ~ 郵便番号 812-8582 福岡県 福岡市東区馬出3-1-1 住所 ふくおかしひがしくまいだし3-1-1 よみがな 電話(代表) FAX(代表) 092-642-5147 e-mail(代表) HPアドレス 診療科 開設診療科数 内科、精神科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻いんこう 科、放射線科、麻酔科、心療内科、神経内科、呼吸器科、循環器科、心臓血管外科、小児外科、病理診断科、救急科、小児 歯科、矯正歯科、歯科、歯科口腔外科、リハビリテーション科 診療科名(具体的に記載) 初診 月曜日~金曜日 曜日 外来診療受付時間 時間 8 30 11 00 分 曜日 再診(自動再来受付機) 月曜日~金曜日 時間 8 時 15 17 時 00 分 分 曜日 時間 時 分 ~ 時 分 月曜日~金曜日 外来診療時間 曜日 時間 9 蚦 00 分 ~ 17 蚦 00 分 時間 曜日 時 時 分 時間 曜日 休診日 土曜日·日曜日·祝日、年末年始(12月29日~1月3日) ·部の診療科で必要 (すべての診療科で必要/一部の診療科で必要/不要) 初診時の予約 (すべての診療科で必要/一部の診療科で必要/不要) -部の診療科で必要 初診時の紹介状の要否 病床数 総病床数 1,267 診療実績 (令和3年1月1日~12月31日) 施設全体の入院患者延べ数(18歳以下)※1 7

施設全体の入院患者実数(18歳以下)※1 小児がん入院患者延べ数 ※2 小児がん入院患者実数 ※2 小児がん入院患者在院延べ日数 ※3 外来小児がん患者数 ※4

緩和ケアチームが新規で診療を実施した小児がん患者数 ※5 セカンドオピニオンの対応を行った小児がん患者数 ※6 他施設から紹介され受け入れた小児がん患者数 ※7 小児がん患者の紹介を受けた医療機関数 ※8 小児がん患者の他施設への紹介患者数 ※9

小児がん患者を紹介した医療機関数 ※8

3,482	人
2,445	人
552	人
171	人
8,335	日
4,086	人
197	人
5	人
100	人
50	機関
10	人
6	機関

/ •

- ※1 当該医療機関で入院加療を行う入院時18歳以下の患者の延べ数と実数をそれぞれ計上する。令和3年1月1日以降に入院した患者を
 - 数える。 入院した患者がその日のうちに退院あるいは死亡した場合も1人と計上する。
 - 入院患者延べ数については、当該年に同一患者が2回入院した場合は2人とする。(入院日数によらず、1回の入院あたり1人を計上
- ※2 当該医療機関で入院加療を行う入院時18歳以下の患者のうち、小児がん患者(「診断時18歳以下のがん患者」と定義する)の延べ数 と実数をそれぞれ計上する。令和3年1月1日以降にがんの診療を目的として入院した患者を数える。 骨折での入院のような他疾患の治療目的での入院は除外するが、フォローアップ検査等での入院は含む。 入院した患者がその日のうちに退院あるいは死亡した場合も1人と計上する。

入院患者延べ数については、当該年に同一患者が2回入院した場合は2人とする。(入院日数によらず、1回の入院あたり1人を計上

- ※3 当該医療機関で入院加療を行う入院時18歳以下の患者のうち、小児がん患者(「診断時18歳以下のがん患者」と定義する)の在院延 が日数を計上する。 前年から入院している症例は、1月1日を起算日とする。翌年まで入院している場合は12月31日を退院日としてカウントする。
 - 当該期間内のがんの診療目的での入院を数える。(他疾患の治療目的(例:骨折にて入院)での入院は除外、フォローアップ検査等は
 - (入院した患者がその日のうちに退院あるいは死亡した場合も1人と計上する。)
 - (入院時点で診断がなされていない場合は、がんの診断日を入院初日とする。)
- ※4 診断時18歳以下を対象とする。初診料もしくは再診料を算定した小児がん患者の延べ数を記入する。 同一患者が2つ以上の診療科を受診した場合は、それぞれの患者として計上する。
- ※5 診断時18歳以下を対象とし、総数(実数)を計上する。終末期の患者だけではなく、緩和ケアチームが検討した結果、診察・薬剤・リハビリなど診療行為の対象となった患者を含むが、カンファレンスのみを行い、実際の診療行為が行われていない患者は含まない。
- ※6 診断時18歳以下を対象とし、延べ数を計上する。なお、当該年に2回セカンドオピニオンを行った患者は、2人と計上する。
- ※7 診断時18歳以下を対象とし、延べ数を計上する。なお、フォローアップ目的の紹介を含む。
- ※8 重複のない実数を計上する。
- ※9 診断時18歳以下を対象とし、延べ数を計上する。なお、紹介時には18歳を超えていても構わないが、がんに関連しない疾患での紹介 (齲歯に対する歯科診療など)は含めない。転院目的での紹介は含むが、同時期に複数病院へ同一内容で紹介した場合は1人と計上する(同時期に異なる内容で紹介または異なる時期に同一内容で紹介の場合は別で計上する)。

小児がんに関する専門外来の名称

ランジショナルケア外来、小児AYA世代がんフォローアップ外来、子どものこころ診療部、小児漢方外来、リンパ浮腫外来、 ーマ看護外来、がん看護外来、小児造血細胞移植後患者フォローアップ外来

日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	市市市 藤族法院 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京	3,170 人	※常勤とは当該医療機関で定めている1週間の就業時間すべてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とはみなさない。 ※常勤とは当該医療機関で定めている1週間の就業時間すべてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間にはませい場合は、常額しばないません。	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
師師師師 解表 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個	市市市 藤族法院 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京	723 721 220 169 93 93 0 0 1,230 1,221 0 0 23 23 8 8 8 10 10 10 9 9 9 0 0 69 69 69 110 109 2 2 2 27 27 11 11 11 0 0 0 11 4 4 4 12 9 0 0 0 2 2 2 624 353 人数 うち常勤(※) 1 1 1 0 0 0 3 3 3 13 12	べてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とはみなさない。 ※常勤とは当該医療機関で定めている1週間の就業時間すべてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
師師師師 解表 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個	市市市 藤族法院 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京	220 169 93 93 0 0 1,230 1,221 0 0 23 23 8 8 10 10 9 9 0 0 69 69 110 109 2 2 27 27 11 11 4 4 12 9 0 0 2 2 624 353 人数 うち常勤(※) 1 1 1 1 0 0 3 3 13 12	べてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とはみなさない。 ※常勤とは当該医療機関で定めている1週間の就業時間すべてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
世界の 東保看准理作視言義診臨衛臨管栄社精公介保そ ががが学学学専指別を 東保看准理作視言義診臨衛臨管栄社精公介保そ ががが学学学専指別、 東保育権理作視言義診臨衛臨管栄社精公介保そ ががが学学学専指別、 東保育権理作視言義診臨衛臨管栄社精公介保そ ががが学学学・ 東保育を 東京を 東京を 東京を 東京を 東京を 東京を 東京を 東京	市市市 藤族法院 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京	93 93 93 0 0 1,230 1,221 0 0 0 23 23 23 8 8 8 10 10 10 9 9 9 0 0 69 69 69 110 109 2 2 2 27 27 11 11 11 0 0 0 11 1 11 4 4 4 4 12 9 0 0 0 2 2 624 353 人数 うち常勤(※) 1 1 1 0 0 0 3 3 3 3 13 12	する。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とはみなさない。 ※常勤とは当該医療機関で定めている1週間の就業時間すべてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
世界の 東保看准理作視言義診臨衛臨管栄社精公介保そ ががが学学学専指別を 東保看准理作視言義診臨衛臨管栄社精公介保そ ががが学学学専指別、 東保育権理作視言義診臨衛臨管栄社精公介保そ ががが学学学専指別、 東保育権理作視言義診臨衛臨管栄社精公介保そ ががが学学学・ 東保育を 東京を 東京を 東京を 東京を 東京を 東京を 東京を 東京	市市市 藤族法院 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京	93 93 93 0 0 1,230 1,221 0 0 0 23 23 23 8 8 8 10 10 10 9 9 9 0 0 69 69 69 110 109 2 2 2 27 27 11 11 11 0 0 0 11 1 11 4 4 4 4 12 9 0 0 0 2 2 624 353 人数 うち常勤(※) 1 1 1 0 0 0 3 3 3 3 13 12	に満たない場合は、常勤とはみなさない。 ※常勤とは当該医療機関で定めている1週間の就業時間すべてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
研法法練覚具射査査学養 祉健理社 の 会会会会門導出の最高を開発している。 会会会会門導出の最高を開始している。 会会会会門導出の最高を開始している。 会会会会門導出の一般では一個では一個では一個では一個では一個では一個では一個では一個では一個では、一個では一個では一個では一個では一個では一個では一個では一個では一個では一個では	市市 雙原法計 电电子 医原体性 医甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基	0 0 1,230 1,221 0 0 0 23 23 8 8 8 10 10 10 9 9 9 0 0 0 69 69 69 110 109 2 2 27 27 11 11 0 0 0 11 11 4 4 4 12 9 0 0 0 2 2 624 353 人数 うち常勤(※) 1 1 1 0 0 0 3 3 3 13 12	※常勤とは当該医療機関で定めている1週間の就業時間すべてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	· 而	1,230 1,221 0 0 23 23 8 8 10 10 9 9 0 0 69 69 110 109 2 2 27 27 11 11 0 0 11 11 4 4 12 9 0 0 2 2 624 353 人数 55常勤(※) 1 1 0 0 3 3 13 12	べてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	雙節 療法 禁禁 禁禁 動 動 動 動 動 動 動 動 動 動 動 動 動 動 動 動	0 0 23 23 8 8 10 10 9 9 0 0 69 69 110 109 2 2 27 27 11 11 0 0 11 11 4 4 42 9 0 0 2 2 624 353 人数 55常勤(※) 1 1 0 0 3 3 13 12	べてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	療法 療法 療法 療法 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神	23 23 8 8 8 10 10 10 9 9 9 0 0 0 69 69 69 110 109 2 2 2 2 7 27 11 11 11 0 0 0 11 11 4 4 4 4 112 9 0 0 0 2 2 2 624 353 人数 うち常勤(※) 1 1 1 1 1 0 0 0 3 3 3 3 13 12	べてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	·療法士 ・療法 ・療法 ・療法 ・療法 ・療法 ・療法 ・療法 ・療法	8 8 9 10 10 9 9 9 0 0 0 69 69 69 110 109 2 2 2 2 27 11 11 11 0 0 0 11 4 4 4 112 9 0 0 0 2 2 624 353 人数 うち常勤(※) 1 1 1 1 0 0 0 3 3 3 13 12	べてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	川穂美生 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大	10 10 9 9 9 0 0 0 69 69 69 110 109 2 2 2 2 7 11 1 11 0 0 0 0 11 4 4 4 4 12 9 0 0 0 2 2 2 624 353 人数 うち常勤(※) 1 1 1 1 1 0 0 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	べてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	川穂美生 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大	10 10 9 9 9 0 0 0 69 69 69 110 109 2 2 2 2 7 11 1 11 0 0 0 0 11 4 4 4 4 12 9 0 0 0 2 2 2 624 353 人数 うち常勤(※) 1 1 1 1 1 0 0 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	べてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
意味 は埋埋社 の学学学・事指科・大阪 神会会 内会看看看他学学学・事指科・大阪 神会 大阪	意見士 長月 長月 長月 東月 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京	9 9 0 0 0 69 69 110 109 2 2 27 27 11 11 11 0 0 0 11 1 11 4 4 4 4 112 9 0 0 0 2 2 2 624 353 人数 うち常勤(※) 1 1 1 1 0 0 0 3 3 3 13 12	べてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	支具士 技列線技師 検育技技師 工学技士 社 監視健師士士 社 監視健師士士 社 監視性師士士 社 四個 世 専門導医 学学会会 暫認定外科	0 0 0 69 69 110 109 2 2 2 2 27 27 11 11 11 0 0 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	べてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
おいた は できょう は は できょう は いい できょう は いい できょう にん いい かん な を すい がい がい がい が でき 学 表 は に 理社 いい 会会会会 門 導 川 児 門 門 神 法 ん が な み ま な 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本	文射線技師 食養性 食養性 全養性 性素性 性素性 性素性 性素性 性素性 性素性 性素性 性	69 69 110 109 2 2 2 2 2 7 27 11 11 11 0 0 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	べてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
電音学養 祉健理社 の 会会会会門導利・関脳門門導法人が公専 力和和分児護護護護護護 社様理社 の 会会会会門導利・関 専事情疾ん が公専 大和 大型	会查技師 全查技師 全查技師 大学技士 大学士 上 全 全 全 全 本 本 本 本 本 本	110 109 2 2 27 27 11 11 11 0 0 0 11 11 4 4 12 9 0 0 2 2 2 624 353 人数 うち常勤(※) 1 1 1 1 0 0 0 3 3 3 13 12	べてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
を学養・祉健理社・00 会会会会門導・指列・配門門導法へが公専・デースの見る協協協協協協協協協協協協協議を主義・社籍公介保を、ががが学会学科・重要を表示を対していいいいが、できた。 かんんんく 会い会学科 病血血性 大学会学科 病血血血体 大学会学科 病血血血体 大学会学科 病血血血性 大型	会査技師 工学技士 と 品社 工社 社 担 日 し の 会 当 と り こ	2 2 27 27 11 11 0 0 11 11 4 4 12 9 0 0 2 2 624 353 人数 うち常勤(※) 1 1 0 0 3 3 13 12	べてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
を学養・祉健理社・00 会会会会門導・指列・配門門導法へが公専・デースの見る協協協協協協協協協協協協協議を主義・社籍公介保を、ががが学会学科・重要を表示を対していいいいが、できた。 かんんんく 会い会学科 病血血性 大学会学科 病血血血体 大学会学科 病血血血体 大学会学科 病血血血性 大型	会査技師 工学技士 と 品社 工学社 社 担 日 し の 会 当 と り こ	2 2 27 27 11 11 0 0 11 11 4 4 12 9 0 0 2 2 624 353 人数 うち常勤(※) 1 1 0 0 3 3 13 12	べてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
学養・祉健理祉・の「会会会会門導入児配門門連派が、が、本学、本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本	工学技士	27 27 11 11 11 0 0 0 11 14 4 4 12 9 0 0 2 2 2 624 353 人数 うち常勤(※) 1 1 1 1 0 0 0 3 3 3 13 12	べてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
を会会会門導科児脳門門導法んが公専 方和和泌尿護護護 一年本本本本本本本本本本本社治 大人 医療学会器 がい地が緩がが がががが会会小会学理療会神認護育の がががが会会小会学理療会神認護育の がががが会会小会学理療会神認護育の がががが会会小会学神病血血原療験同団和和分児護護護護護 原児児児児児児児神理液液血床療験同団和和分児護護護護護護 原児児児児児児児児児神理液液血腫射 人療療学会器 がい地が緩がが 本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本	 業養士 上 品祉士 保健福祉士 ご品祉士 日本 日本	11 11 0 0 0 11 11 11 4 4 4 4 12 9 0 0 0 2 2 624 353 人数 うち常勤(※) 1 1 1 1 0 0 0 3 3 3 13 12	べてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
土福保心福士他学学学学専指科、定籍等の はない 大大学会会会会 門場外 により はない 大大 は に で いっかい かいかい がいがいがいか に かいかい がいがいがいかい かいかい かいか	t 品社士 保健福祉士 と はの職種 学会 専門医 学会 指導医 学会 認定外科医	0 0 11 11 4 4 12 9 0 0 2 2 624 353 人数 うち常勤(※) 1 1 0 0 3 3 13 12	べてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V
社構と理社・の 会会会会門導出・児脳門門等法人が公専 対和和泌児護護護の いんんん 会会会会門導出・児児児児児児児児児児児児児児児児児児児児児児児児児児児児児児児児児児児児	富祉士 保健福祉士 3理師 富祉士 b 也の職種 学会 専門医 学会 指導医 学会 認定外科医	11 11 4 4 11 11 11 11 11 11 11 1 1 1 1	べてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
精公司 (特別) (特別) (特別) (特別) (特別) (特別) (特別) (特別)	R健福祉士 ご理師 冨祉士 と 也の職種 学会 専門医 学会 指導医 学会 認定 外科医	4 4 9 9 0 0 2 2 2 624 353 人数 うち常勤(※) 1 1 1 0 0 0 3 3 3 13 12	べてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	V V V V V V
中国 (1) では、 1 できれる。 1 できれる。 1 できれる。 1 できれる。 2 できれる。 3 できれる。 3 できれる。 3 できれる。 3 できれる。 3 できれる。 3 できれる。 4 できれる。 4 できれる。 4 できれる。 5 できれる。 6	 ご理師	12 9 0 0 2 2 2 624 353 人数 うち常勤(※) 1 1 1 0 0 0 3 3 3 13 12	べてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	\(\text{\chi} \) \(\ch
中国 (1) では、 1 できれる。 1 できれる。 1 できれる。 1 できれる。 2 できれる。 3 できれる。 3 できれる。 3 できれる。 3 できれる。 3 できれる。 3 できれる。 4 できれる。 4 できれる。 4 できれる。 5 できれる。 6	 ご理師	12 9 0 0 2 2 2 624 353 人数 うち常勤(※) 1 1 1 0 0 0 3 3 3 13 12	べてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	\(\text{\chi} \) \(\ch
和土 の 会会会会門 導科 児脳門門 導法 んが 公専 が 不本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本	a祉士 b の職種 学会 専門医 学会 指導医 学会 認定外科医	0 0 2 2 624 353 人数 うち常勤(※) 1 1 0 0 3 3 13 12	べてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	\(\frac{1}{V} \)
日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	上 也の職種 学会 専門医 学会 指導医 学会 暫定指導医 学会 認定外科医	2 2 624 353 人数 うち常勤(※) 1 1 1 1 0 0 3 3 13 12	べてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	\(\text{\chi} \) \(\ch
他学学学専指科児脳門門導法のが公専 方和和泌尿護護護協協協協会会会会門導科児服門児児児児児児児児児児児児児児児児児児児児児児児児児児児児児児児児児児	也の職種 学会 専門医 学会 指導医 学会 暫定指導医 学会 認定外科医	624 353 人数 うち常勤(※) 1 1 1 1 0 0 3 3 13 12	べてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	\(\times \)
日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	学会 専門医 学会 指導医 学会 暫定指導医 学会 認定外科医	人数 うち常勤(※) 1 1 1 1 1 0 0 0 3 3 3 13 12	べてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	<i>V V</i>
日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	学会 指導医 学会 暫定指導医 学会 認定外科医	1 1 1 1 0 0 0 3 3 3 13 12	べてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	<i>V</i>
日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	学会 指導医 学会 暫定指導医 学会 認定外科医	1 1 1 1 0 0 0 3 3 3 13 12	べてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	<i>V</i>
日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	学会 指導医 学会 暫定指導医 学会 認定外科医	1 1 0 0 3 3 3 13 12	べてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	<i>V</i>
日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	学会 暫定指導医 学会 認定外科医	0 0 3 3 13 12	べてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	V
日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	学会 認定外科医	3 3 13 12	する。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間	
日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日		13 12		
日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	専門医		に満たない場合は、常勤とはみなさない。	
日本本の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の		5 5		~
日本本の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の	指導医			~
日本本語の 中華		36 36		· ·
日本 経典 では、 は、 は		3 3		
日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日				<i>'</i>
日本本の本の主要を表している。 日本本の主要を表している。 一年の主要を表している。 日本本の主要を表している。 日		19 11		~
日本企業 (中国 中国 中	専門医	8 0		~
日本造師・免疫細胞・免疫細胞・外療ががががから、 一人の原本 と を を を を を を を を を を を を を を を を を を	専門医	26 26		~
日本造品・免疫細胞・免疫細胞・免疫細胞・免疫細胞・水の水腫・医療学医療学医療学医療学医療学会療 医腺腫射射 日本在海豚 銀種 大田本 大田	指道 医	10 10		
日本臨床腫瘍学会機構・ががががかいます。 かん治射線腫瘍学会機構・企事 大田 本		8 8		<u> </u>
がん治療認定医機構が、公療認定医機構が、公療療験性のでは、 大きな				
日本放射線腫等学会・公療学治医療学治医療学治療が放り間 法医療学治医療学治医療学会 内分配 医療学 医水水 中枢		12 12		
共同 放射線沖医療学 放射線 大田	がん治療認定医	68 65		~
共同 放射線沖医療学 放射線 大田	:・公益社団法人 日本医学放射線学会			
公益社団法人日本医学院 緩和 医療学会 緩和 医療学会 病分泌学会 緩和 医療学会 内外 医療学会 内外 医病毒 大小児循環器 学会 看護協会 かい児 本看看護協会 かい児域看看護協会会 がん化看看護協会会 がんん 大り 本看看護協会 がん 大り 本看護協会 がん 放り 大小 大り 大小 大り 大小 大り 大小 大り		5 5		~
日本緩和医療学会 緩和医療学会 緩和 医療学会 短和 医療学会 内分泌 環境 学会 内分泌 現本 小児循環器 学 会看 護協協会 かい 現 本看 看護協会会 地 がん 化 東 不 看 表 看 養護協会会 がん 生 なん 生 なん と ア 日本 看 養護協会 がん 性 核 がん 性 核 り かん 性 核 り かん 性 核 り かん た がり かん た がり かん かり かん		01 01	-	
日本緩和医療学会 緩和 日本 例 分泌学会 内分泌 学会 内分泌 日本小児循環器学会認定 日本看護協会 がん看護 日本看護協会 地域看護 日本看護協会 がん化学 日本看護協会 がん性 タート は 一大 の がん は かん は かん は がん は がん は がん 放射 けん かん かり かん かり		21 21		
日本内分泌学会 内分泌 日本小児循環器学会認定 日本小児循環器学会認定 日本看護協会 小児看看護協会 地域看護 日本看護協会 がん化手 日本看護協会 がん 大郎 日本看護協会 がん 大り 日本看護協会 がん 放り 日本看護協会 がん 放射 日本看護協会 がん 放射	緩和医療専門医	0 0		
日本小児循環器学会認定 日本看護協会 がん看護 日本看護協会 地域看 日本看護協会 地域看 日本看護協会 がんケア 日本看護協会 がん性疼 日本看護協会 がん性疼	緩和医療認定医	2 2		~
日本看護協会 がん看護 日本看護協会 小児看護 日本看護協会 地域看護 日本看護協会 がん化学 日本看護協会 がん性疼 日本看護協会 がん性疼 日本看護協会 がん放射	分泌代謝科専門医	18 18		~
日本看護協会 がん看護 日本看護協会 小児看護 日本看護協会 地域看護 日本看護協会 がん化学 日本看護協会 がん性疼 日本看護協会 がんた 日本看護協会 がんたり	認定 小児循環器専門医	6 5		~
日本看護協会 小児看護 日本看護協会 地域看護 日本看護協会 がん化学 日本看護協会 緩和ケア 日本看護協会 がん性疼 日本看護協会 がん放射		2 2	ľ	
日本看護協会 地域看護 日本看護協会 がん化学 日本看護協会 緩和ケア 日本看護協会 がん性疼 日本看護協会 がん放射			-	
日本看護協会 がん化学 日本看護協会 緩和ケア 日本看護協会 がん性疼 日本看護協会 がん放射				
日本看護協会 緩和ケア 日本看護協会 がん性疼 日本看護協会 がん放射		0 0	ļ	
日本看護協会 がん性疼 日本看護協会 がん放射	化学療法看護認定看護師	2 2		'
日本看護協会 がん放射	ケア認定看護師	2 2		~
日本看護協会 がん放射	性疼痛看護認定看護師	1 1		·
		2 2	ļ —	
口个自设励云 贷民 熈		1 1	-	
			ļ	
日本看護協会 皮膚・排泡		3 3	ļ	
日本小児がん看護学会		1 1		'
日本輸血·細胞治療学会	学会 臨床輸血看護師	1 1		~
		2 2	The state of the s	
日本医療薬学会 がん専		3 3	ŀ	<u> </u>
	がん薬物療法認定薬剤師	2 2	-	
日本臨床細胞学会 細胞	がん薬物療法認定薬剤師 ん専門薬剤師		-	
日本医学放射線学会 医	がん薬物療法認定薬剤師 ん専門薬剤師 細胞検査士	6 6	ļ	<u> </u>
	がん薬物療法認定薬剤師 ん専門薬剤師 細胞検査士 : 医学物理士	5 5	ļ	
日本臨床心理士資格認定	がん薬物療法認定薬剤師 ん専門薬剤師 細胞検査士 : 医学物理士 放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師	40		~
一般社団法人 日本病態	がん薬物療法認定薬剤師 ん専門薬剤師 細胞検査士 : 医学物理士 放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師	10 9		
	がん薬物療法認定薬剤師 ん専門薬剤師 細胞検査士 : 医学物理士 放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師 認定協会 臨床心理士		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	~
	がん薬物療法認定薬剤師 ん専門薬剤師 細胞検査士 : 医学物理士 放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師 認定協会 臨床心理士 病態栄養学会/	1 1		
一般社団法人日本人類道	がん薬物療法認定薬剤師 ん専門薬剤師 細胞検査士 医学物理士 放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師 認定協会 臨床心理士 病態栄養学会/ 日本栄養士会 がん病態栄養専門管理栄養士			~
	がん薬物療法認定薬剤師 ん専門薬剤師 細胞検査士 医 医学物理士 別放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師 認定協会 臨床心理士 病態栄養学会/ 日本栄養士会 がん病態栄養専門管理栄養士 類遺伝学会			1 -
	がん薬物療法認定薬剤師 の専門薬剤師 細胞検査士 E 医学物理士 別放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師 認定協会 臨床心理士 病態栄養学会/ 日本栄養士会 がん病態栄養専門管理栄養士 類遺伝学会 ウンセリング学会 認定遺伝カウンセラー	3 3		
特定非営利活動法人子と	がん薬物療法認定薬剤師 の専門薬剤師 細胞検査士 E 医学物理士 関放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師 認定協会 臨床心理士 病態栄養学会/ 日本栄養士会 がん病態栄養専門管理栄養士 類遺伝学会 ウンセリング学会 認定遺伝カウンセラー E族性腫瘍学会 家族性腫瘍カウンセラー	1 1 3 3 1 1 1		~
チャイルドライフスペシャ!	がん薬物療法認定薬剤師 の専門薬剤師 細胞検査士 E 医学物理士 別放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師 認定協会 臨床心理士 病態栄養学会/ 日本栄養士会 がん病態栄養専門管理栄養士 類遺伝学会 ウンセリング学会 認定遺伝カウンセラー	1 1 3 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		<i>V</i>
ホスピタルプレイスペシャ	がん薬物療法認定薬剤師 の専門薬剤師 細胞検査士 に 医学物理士 放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師 (認定協会 臨床心理士 病態栄養学会/ 日本業養士会 がん病態栄養専門管理栄養士 類遺伝学会 ウンセリング学会 認定遺伝カウンセラー は、性腫瘍学会 家族性腫瘍カウンセラー 、子ども療養支援協会 子ども療養支援士	1 1 3 3 1 1 1		
	がん薬物療法認定薬剤師 の専門薬剤師 細胞検査士 医学物理士 は放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師 認定協会 臨床心理士 病態栄養学会/ 日本栄養士会 がん病態栄養専門管理栄養士 類遺伝学会 シンセリング学会 認定遺伝カウンセラー で族性腫瘍学会 家族性腫瘍カウンセラー 、子ども療養支援協会 子ども療養支援士 シャリスト	1 1 3 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		V

病院名: 九州大学病院

「A」項目の充足状況・・・ 109 / 109 100.0%

罗派许明	Α Δ'		はい:記載内容を 満たしている				
	В	:望ましい	いいえ:記載内容		チェック欄に未	Aの 充足	
① 集学的治療の提供体制および標準的治療等の提供	-	:参考	を満たしていない	İ	入力なし	状況	
小児がんについて、手術療法、放射線療法および薬物療法を効果的に組み合わせた集学的治療および緩和ケアを提供する体制を有するとアともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療(以下「標準的治療」という。)等小児がん患者の状態に応じた適切な治療を提供している。	А	はい	(はい/いいえ)	8	~	0	
- 専門とするがんについて別載1に記載すること。	_	別紙1		9		.Ш	
小児がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう、以下のカンファレンスをそれぞれ必要に応じて定期的に開催している。	А	はい	(はい/いいえ)	10	· /	0	
また、検討した内容については、診療域に記録の上、関係有同で共有している。		はい		1 1		0	
個別は「八け小数の診察科の医師に加え 秀護師 薬剤師 必要に広じて公認心理師や緩和ケアチー / 友代事才ス孝等を加えた 症	Α .		(はい/いいえ)	1 1			
例への対応方針を検討するカンファレンス	A	はい	(はい/いいえ)	12		0	
手術、放射線診断、放射線治療、薬物療法、病理診断及び緩和ケア等に携わる専門的な知識及び技能を有する医師とその他の専門 iii を異にする医師をおい意本の場合では、	A	はい	(はい/いいえ)	13	V	0	
神の多眼性によるカンプアレンス	A	はい	(はい/いいえ)		~	0	
院内の他診療科や 小児がん 連集病院 がん診療連集拠占病院等 地域の医療機関と協力 ハリがん 串老に対して 移行期医療や成	-		0	1			
つ 人後の晩期合併症対応等も含めた長期フォローアップ体制を構築している。	A	はい	(はい/いいえ)	16	~	0	
自ら病歴を確保・保存することや疾病理解、健康管理などに関した患者教育、患者啓発に努めている。	A	はい	(はい/いいえ)	17	~	0	
長期フォローアップ外来(小児がん経験者の健康管理、晩期合併症の予防、疾病の早期発見・早期治療のための外来)を開設している。	-	はい	(はい/いいえ)	18	~	l	
エ AYA世代にあるがん患者について、がん診療連携拠点病院等への紹介も含めた適切な医療を提供できる体制を構築している。	А	はい	(はい/いいえ)	10	.,	0	
				1 1			
	A A	はい	(はい/いいえ) (はい/いいえ)	4 1		0	
対象とかいうる患者およれる家族には必ずがん、治療関始前に適切か情報提供を行い、患者等の差望も、数すった好み性(注5)温左療法及びが				1	-		
ん治療後の生殖補助医療に関する情報提供・意思決定支援を行う体制を整備している。	A	はい	(はい/いいえ)	22	· ·	0	
	Α	はい	(はい/いいえ)	1 1	V	0	
	-	はい	(はい/いいえ)	24	~	Į	
生殖機能の温存の支援を行った患者数やその体制について別紙2に記載すること。 、保険適用外の免疫療法等について、治験、先進医療、臨床研究法(平成29年法律第16号)で定める特定臨床研究または再生医療等の安全		別紙2		25		. —	
+ 性の確保等に関する法律(平成25年法律第85号)に基づき提供される再生医療等の枠組み以外の形では、実施・推奨していない。	A	はい	(はい/いいえ)	26	~	0	
② 薬物療法の提供体制				27			
薬物療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会を設置している。	А	はい	(はい/いいえ)	28	~	0	
		10.0	(10.0) 0 0 727	00		لٽا،	
③ 緩和ケアの提供体制 ア 小児がん診療に携わる全ての診療従事者により、全ての小児がん患者に対し適切な緩和ケアが提供される体制を整備している。	А	はい	(はい/いいえ)	29 30		0	
	A	はい	(はい/いいえ)		~	ŏ	
自施設で対応できない場合には地域のがん診療連携拠点病院等との連携体制を整備している。	_	いいえ	(はい/いいえ)	32	· /		
(30,31がともに"はい"の場合には、"いいえ"を選択してください。)			(120.) (10.)	32		ıШ	
緩和ケアチームの組織・体制について <mark>別紙3</mark> に記載すること。 イ 外来において専門的な小児の緩和ケアを提供できる体制を整備している。	В	別紙3 はい	(はい/いいえ)	33		ı	
オースについて、マデリアのアンルの機能はアンドルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルルでは、アンドルでは、アンドルでは、アンドルルでは、アンドルルでは、アンドルルでは、アンドルルでは、アンドルルでは、アンドルルルでは、アンドルルルでは、アンドルルルでは、アンドルルルでは、アンドルルルでは、アンドルルルルでは、アンドルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルル	ь	別紙4	(120.) (10.)	35		I	
ウ 緩和ケアチーム並びに必要に応じて主治医および看護師等が参加する症状緩和に関するカンファレンスを定期的に開催している。	А	はい	(はい/いいえ)	36	· /	0	
	_			07		لٽار	
陸内の目わずい提前に緩和たフェールによる診察が悪けられる旨の根子をするかど、小田がん患者もよびその家族等に対し必要か情報担	-	61		3/	-		
工機を行っている。	A	はい	(はい/いいえ)	38		0	
情報提供の手段について簡潔に記載すること(例: 医療機関のwebサイトに掲載)		小児がん拠点 関)のWebサイ		39	~	ľ	
- 小児がん連携病院やかかりつけ医等の協力・連携を得て、主治医および看護師が緩和ケアチームと共に、退院後の居宅における緩和ケア				l			
に関する原食工必要は説明のよび指導で行うといる。	A	はい	(はい/いいえ)	40		0	
カ 小児の緩和ケアに関する要請および相談に関する受付窓口を設けるなど、小児がん連携病院や地域の医療機関および在宅療養支援診療 カ 所等との連携協力体制を整備している。	A	はい	(はい/いいえ)	41	~	0	
緩和ケア病棟について別様5に記載すること。		別紙5		42		.Ш	
④ 地域連携の推進体制				43			
ア 小児がん連携病院や地域の医療機関から紹介された小児がん患者の受入れを行っている。	Α	はい	(はい/いいえ)		V	0	
また、小児がん患者の状態に応じ、小児がん連携病院や地域の医療機関等へ小児がん患者の紹介を行っている。	A	はい	(はい/いいえ)	45		0	
小児がんの病理診断又は画像診断に関する佐頼や手術療法、放射線療法又は薬物療法に関する相談など、小児がん連携病院や地域の イステンサリスト	А	はい	(はい/いいえ)	46	_	0	
医療(検別等の) 医師(C和丘に形的) 及び 点様(に関する) 建物 加力 中間 で 宝 開し こいる。			1				
	A	はい	(はい/いいえ)		'	0	
⑤ セカンドオピニオンの提示体制	-			48			
	А	はい	(はい/いいえ)	49	~	0	
	,	Let v	(141				
	A	はい	(はい/いいえ)	DU		0	
	Α	はい	(はい/いいえ)	51	~	0	
	,	(+1)	(1+1) (1) (1)				
	A B	はい	(はい/いいえ) (はい/いいえ)	4 1		0	
セカンドオピニオンの提示体制、問い合わせ窓口について別紙8に記載すること。		別紙6	(180) 0 0 72)	54		1	
(2)診療従事者				55			
用語の定義:				1			
専任: 当該診療の実施担当者で、その他の診療を兼任していても差し支えないが、就業時間の少なくとも5割以上、当該診療に従事しているもの。			ļ	56			
専従・就業時間の少なくとも8割以上、当該診療に専ら従事しているもの。 ※専任の人数には、専従も含めて記載すること。			ļ	11 V 0 12 V 0 13 V 0 14 V 0 15 V 0 16 V 0 17 V 0 18 V 0 19 V 0 10 22 V 0 10 22 V 0 10 22 V 0 10 23 V 0 10 24 V 0 10 33 V 0 10 33 V 0 10 34 V 0 10 33 V 0 10 33 V 0 10 33 V 0 10 34 V 0 10 44 V 0 10 44 V 0			
① 専門的な知識および技能を有する医師の配置				57			
マ 小児がんの薬物療法に携わる専門的な知識および技能を有する医師の人数。	<u> </u>	9	,		<i></i>	1	
	A	6	人 人 1人以上			0	
上記アの医師のうち専任かつ常勤の人数	Α'	6	人 1人以上	60			
	В	0	<u> </u>	61		ľ	
	B -	0 15	人	4		ľ	
1 1元の子前に洗がら、1元が70子前に関して寺口が3本職及の文化と行うると呼び入気。	- А	3	人 人 1人以上	4		0	
上記イの医師のうち専任かつ常勤の人数	_					ات.	
上記イの医師のうち専従の人数	A.	3	人 1人以上			,	
	В	3	人 1人以上 人	66	~		
上記イの医師のうち専従かつ常動の人数	_		人 人 人 人 人	66 67	V	0	

工 緩和ケアチームの、身体症状の緩和に携わる専門的な知識および技能を有する医師の人数。 緩和ケアチームの、身体症状の緩和に携わる専門的な知識および技能を有する医師の人数のうち常勤の人数 緩和ケアチームの、精神症状の緩和に携わる専門的な知識および技能を有する医師の人数。	Α	2	人 1人以上	70	~	
緩和ケアチームの、精神症状の緩和に携わる専門的な知識および技能を有する医師の人数。		2	,	71	~	
緩和ケアチームの、精神症状の緩和に携わる専門的な知識および技能を有する医師の人数のうち常動の人数	Α	1	人 1人以上	72	<u> </u>	٦L
機和ケアチームの身体症状担当医および精神症状担当医の人数。	В –	1 8	<u> </u>	73 74	<u> </u>	_
うちPEACE(成人の緩和ケア研修会)修了者数	t –	3	Ź	75	~	
受讀率		37.5	%	76		_
うちCLIC(小児の緩和ケア研修会)修了者数	_	2	<u></u>	77	~	
受講率 一	_	25.0 18	%	78 79		_
「小児が心診療において、小児が心思者の主治医や担当医となる者の人数。 うちPEACE(成人の緩和ケア研修会)修了者数	- I –	5	<u> </u>	80	~	
受講習	_	27.8	%	81		
うちCLIC (小児の緩和ケア研修会)修了者数	T -	5	人	82	~	
受講項	_	27.8	%	83		_
オ病理診断に携わる医師の人数。		8	人	84	<i>\</i>	— -
病理診断に携わる医師のうち専従の人参 病理診断に携わる医師のうち専従かつ常勤の人参		8	人 1人以上 人 1人以上	85	<i>\'</i>	L
」 長期フォローアップに携わる部門に配置されている、厚生労働省委託事業小児・AYA世代のがんの長期フォローアップ体制整備事業による				00		1
カ「小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会」を受講した医師の人数。	Α	6	人 1人以上	87	~	
)専門的な知識及び技能を有する医師以外の診療従事者の配置				88		
ア 小児がんに係る放射線療法に携わる診療放射線技師の人数。	Α	9	人 1人以上	89	~	
放射線療法に携わる診療放射線技師のうち常勤の人数	_	9	人	90	~	┛.
小児がんに係る放射線療法における機器の精度管理、照射計画の検証、照射計画補助作業等に携わる技術者等の人数。 放射線療法における機器の精度管理、照射計画の検証、照射計画補助作業等に携わる技術者等のうち常勤の人数	Α	1	人 1人以上	91	<u> </u>	ا <u>ل</u>
	- I	2	스	92 93	<i>V</i>	_
本物療法に携わる専門的な知識および技能を有する薬剤師のうち常勤の人数。 薬物療法に携わる専門的な知識および技能を有する薬剤師のうち常勤の人数		2	人 1人以上	94	~	
・	-	2	人	94 95	~	- -
緩和ケアチームの、緩和ケアに携わる専門的な知識および技能を有する看護師の常勤の人数	A	2	人 1人以上	96	· V	TI
緩和ケアチームに協力する薬剤師の人数		1	人	97	~	╝,
緩和ケアチームに協力する公認心理師の人数		1	<u>۸</u>	98	V	_
エ 小児がんに係る細胞診断に関する業務に携わる者の人数。	В	7	人	99	<u> </u>	ㅢ,
オ 小児看護やがん看護に関する専門的な知識および技能を有する小児がんに係る業務に携わる専門看護師または認定看護師の人数。 うち小児がん看護に関する知識や技能を習得している者の人数	A B	1	人 1人以上	100 101	<u> </u>	4
カ 小児がんに係る療養支援等を行う者の人数について	, в		_^	101	· ·	
小児科領域に関する専門的な知識及び技能を有する公認心理師等の医療心理に携わる者の人数	I A	1	人 1人以上	103	V	\neg
医療心理に携わる者の内訳を記載してください。(公認心理師と臨床心理士の両方の資格を有する者は両方に計上してください。)				104		_'
小児科領域に関する専門的な知識及び技能を有する医療心理に携わる者のうち、公認心理師の人数	- 1	1	人	105	~	
小児科領域に関する専門的な知識及び技能を有する医療心理に携わる者のうち、臨床心理士の人数	_	1	人	106	~	_
小児科領域に関する専門的な知識及び技能を有する保育士の人数 小児科領域に関する専門的な知識及び技能を有する社会福祉士もしくは精神保健福祉士の人数	_	2	人 1人以上	107	<u> </u>	4
が元行限場に関する等门的な知識及び技能を有する社会価値工もCNは相种保険価値工の人数 医療環境にある子どもや家族への療養支援に関する専門的な知識及び技能を有する者の人数		2	人 1人以上 人 1人以上	108 109	<i>V</i>	
小児がんの患者及び家族の療育を支援する、チャイルドライフスペシャリストの人数		0	人	110	~	┩┖
・		1	Ž	111	~	
小児がんの患者及び家族の療育を支援する、子ども療養支援士の人養		1	,	112	~	
上 期フ+ローマップに 惟わる 郊間に 耐寒されている。 原 生 学働 全 系 江 車 業 小 旧・Λ∨Λ 卅 伏 の 私 り カーフ・フ・プ 伏 钊 敷 横 車 業 に トス		7	人 1人以上	113	~	
キ 「小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会」を受講した看護師等診療従事者の人数。	_ ^		X IXXX	110		
その他の環境整備等			_	114	•	
放射線療法に関する機器を設置すること。ただし、当該機器は、リニアックなど、体外照射を行うための機器であること。	A	はい	(はい/いいえ)		~	_
) 小児患者に対応できる集中治療室を設置している。 集中治療室を設置している場合、一般向けの特定集中治療室(ICU)の数	Α _	はい	(はい/いいえ)	116 117	<i>V</i>	L
集中治療室を設置している場合、小児専門の特定集中治療室(PICU)の数		12 0	<u>床</u> 床	118	<u> </u>	-
患者 との家族が利用可能なインターネット環境を整備している。	В	はい	(はい/いいえ)		~	
步索突續		_		120		
) 小児がんについて年間(令和3年1月1日~12月31日)新規症例数が30例以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。	Α	はい	(はい/いいえ)	1 1		
	+		(160 / 0 0 / 2 /	121	~	
周形腫瘍について年間(会和3年1月1日~12月31日)新規症例数が少なくとも10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。	Δ	1+1.\			<i>y</i>	
	A	はい	(はい/いいえ)	122	V	
	A	はい		122	<i>y y</i>	
造血器腫瘍について年間(令和3年1月1日~12月31日)新規症例数が少なくとも10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。			(はい/いいえ)	122		
造血器腫瘍について年間(令和3年1月1日~12月31日)新規症例数が少なくとも10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。 療実績等について <mark>別紙1</mark> および <mark>別紙7</mark> に記載すること。		はい 別紙1	(はい/いいえ)	122 123		
遠血器腫瘍について年間(令和3年1月1日~12月31日)新規症例数が少なくとも10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。 療実績等について <mark>別紙</mark> 1および <mark>別紙7</mark> に記載すること。 才育成等	A	はい 別紙1 別紙7	(はい/いいえ) (はい/いいえ)	122 123 124 125		
造血器腫瘍について年間(令和3年1月1日~12月31日)新規症例数が少なくとも10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。 療実績等について <mark>別紙1</mark> および <mark>別紙7</mark> に記載すること。 才育成等 国施設において、1に掲げる診療体制その他要件に関連する取組のために必要な人材の確保や育成に積極的に取り組んでいる。		はい 別紙1 別紙7	(はい/いいえ) (はい/いいえ)	122 123 124 125 126	~	
造血器腫瘍について年間(令和3年1月1日~12月31日)新規症例数が少なくとも10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。 療実績等について <mark>別紙1</mark> および <mark>別紙7</mark> に記載すること。 才育成等 自施設において、1に掲げる診療体制その他要件に関連する取組のために必要な人材の確保や育成に積極的に取り組んでいる。	A	はい 別紙1 別紙7	(はい/いいえ) (はい/いいえ)	122 123 124 125 126	~	
造血器腫瘍について年間(令和3年1月1日~12月31日)新規症例数が少なくとも10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。 療実績等について <mark>別紙1</mark> および <mark>別紙7</mark> に記載すること。 才育成等 自施設において、1に掲げる診療体制その他要件に関連する取組のために必要な人材の確保や育成に積極的に取り組んでいる。	A	はい 別紙1 別紙7	(はい/いいえ) (はい/いいえ)	122 123 124 125 126	V	
造血器腫瘍について年間(令和3年1月1日~12月31日)新規症例数が少なくとも10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。 療実績等について別紙1および別紙7に記載すること。 才育成等 1施設において、1に掲げる診療体制その他要件に関連する取組のために必要な人材の確保や育成に積極的に取り組んでいる。 に、診療の質を高めるために必要な学会が認定する資格等の取得についても積極的に支援している。 学会・教育・研修活動のための予算が計上されている。 論文発表、学会来表等を病院業績集等で報告している。	A A A	はい 別紙1 別紙7	(はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ)	122 123 124 125 126	<i>V</i>	
造血器腫瘍について年間(令和3年1月1日~12月31日)新規症例数が少なくとも10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。 療実績等について別紙1および別紙7に記載すること。 才育成等 自施設において、1に掲げる診療体制その他要件に関連する取組のために必要な人材の確保や育成に積極的に取り組んでいる。 に、診療の質を高めるために必要な学会が認定する資格等の取得についても積極的に支援している。 学会・教育・研修活動のための予算が計上されている。 論文発表、学会発表等を病院業績集等で報告している。 型点病院の長は、当該拠点病院においてが人医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価	A A A -	はい 別紙1 別紙7	(はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ)	122 123 124 125 126 127 128	V V	
造血器腫瘍について年間(令和3年1月1日~12月31日)新規症例数が少なくとも10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。 療実績等について別紙1および別紙7に記載すること。 才育成等 3施設において、1に掲げる診療体制その他要件に関連する取組のために必要な人材の確保や育成に積極的に取り組んでいる。 に、診療の質を高めるために必要な学会が認定する資格等の取得についても積極的に支援している。 学会・教育・研修活動のための予算が計上されている。 論文発表、学会発表等を病院業績集等で報告している。 8. 虚病院の長は、当該拠点病院においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価 該医師等がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。	A A A A	はい 別紙1 別紙7 はい はい はい	(はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ)	122 123 124 125 126 127 128 129 130	V V V V V	
遠血器腫瘍について年間(令和3年1月1日~12月31日)新規症例数が少なくとも10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。 療実績等について別紙1および別紙7に記載すること。 才育成等 1施設において、1に掲げる診療体制その他要件に関連する取組のために必要な人材の確保や育成に積極的に取り組んでいる。 に、診療の質を高めるために必要な学会が認定する資格等の取得についても積極的に支援している。 学会・教育・研修活動のための予算が計上されている。 論文発表、学会発表等を病院実績集等で報告している。 1点病院の長は、当該拠点病院においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価 該医師等がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。 1. 独議の経験で表表等を中心に、小児がん対策の目的や意義、患者をその家族が利用できる制度や関係機関との連携体制、自施設で提供しる。	A A A	はい 別紙1 別紙7 はい はい	(はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ)	122 123 124 125 126 127 128 129 130	\(\times \)	
造血器腫瘍について年間(令和3年1月1日~12月31日)新規症例数が少なくとも10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。 療実績等について別紙1および別紙7に記載すること。 才育成等 国施設において、1に掲げる診療体制その他要件に関連する取組のために必要な人材の確保や育成に積極的に取り組んでいる。 に、診療の質を高めるために必要な学会が認定する資格等の取得についても積極的に支援している。 学会・教育・研修活動のための予算が計上されている。 論文発表、学会発表等を病院業績集等で報告している。 配点病院の長は、当該拠点病院においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価 該医師等がその専門性を十分に免縄できる体制を整備している。 急施設の診療従事者等を中心に、小児がん対策の目的や意義、患者やその家族が利用できる制度や関係機関との連携体制、自施設で提供し 危診療・患者支援の体制について学ぶ機会を年1回以上確保している。	A A A A	はい 別紙1 別紙7 はい はい はい	(はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ)	122 123 124 125 126 127 128 129 130	V V V V V	
造血器腫瘍について年間(令和3年1月1日~12月31日)新規症例数が少なくとも10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。 療実績等について別紙1および別紙7に記載すること。 才育成等 1施設において、1に掲げる診療体制その他要件に関連する取組のために必要な人材の確保や育成に積極的に取り組んでいる。 に、診療の質を高めるために必要な学会が認定する資格等の取得についても積極的に支援している。 学会・教育・研修活動のための予算が計上されている。 論文発表、学会発表等を病院業績集等で報告している。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	A A A A A	はい 別紙1 別紙7 はい はい はい はい はい	(はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ)	122 123 124 125 126 127 128 129 130	V V V V V V	
造血器腫瘍について年間(令和3年1月1日~12月31日)新規症例数が少なくとも10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。 療実績等について別紙1および別紙7に記載すること。 才育成等 1施設において、1に掲げる診療体制その他要件に関連する取組のために必要な人材の確保や育成に積極的に取り組んでいる。 に、診療の質を高めるために必要な学会が認定する資格等の取得についても積極的に支援している。 学会・教育・研修活動のための予算が計上されている。 論文発表、学会発表等を病院業績集等で報告している。 是点病院の長は、当該拠点病院においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価 該医師等がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。 施設の診療後事者等を中心に、小児がん対策の目的や意義、患者やその家族が利用できる制度や関係機関との連携体制、自施設で提供し 5診療・患者支援の体制について学ぶ機会を年1回以上確保している。 施設のがん診療に携わる全ての診療従事者が受講している。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	A A A A B	はい 別紙1 別紙7 はい はい はい はい はい	(はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ)	122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V	
造血器腫瘍について年間(令和3年1月1日~12月31日)新規症例数が少なくとも10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。 療実績等について別紙1および別紙7に記載すること。 才育成等 1施設において、1に掲げる診療体制その他要件に関連する取組のために必要な人材の確保や育成に積極的に取り組んでいる。 に、診療の質を高めるために必要な学会が認定する資格等の取得についても積極的に支援している。 学会・教育・研修活動のための予算が計上されている。 「論文発表、学会発表等を病院業績集等で報告している。 是点病院の長は、当該拠点病院においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価該医師等がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。 起意病院の長は、当該拠点病院においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価該医師等がその専門性を中心に、小児がん対策の目的や意義、患者やその家族が利用できる制度や関係機関との連携体制、自施設で提供した診療・患者支援の体制について学ぶ機会を年1回以上確保している。施設のがん診療に携わる全ての診療従事者が受講している。 「犯力がん」連携病院や地域の医療機関等の多職種の診療従事者も参加する小児がんの診療、相談支援、がん登録及び臨床試験等に関する研 等を毎年定期的に開催し、人材育成等に努めている。 児がんに関する研修等の回数および研修プログラムの状況について別紙8に記載すること。	A A A A B	はい 別紙1 別紙7 はい はい はい はい はい	(はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ)	122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V	
造血器腫瘍について年間(令和3年1月1日~12月31日)新規症例数が少なくとも10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。 療実績等について別紙1および別紙7に記載すること。 才育成等 1施設において、1に掲げる診療体制その他要件に関連する取組のために必要な人材の確保や育成に積極的に取り組んでいる。 に、診療の質を高めるために必要な学会が認定する資格等の取得についても積極的に支援している。 学会・教育・研修活動のための予算が計上されている。 論文発表、学会発表等を病院業績集等で報告している。 2点病院の長は、当該拠点病院においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価該医師等がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。 1施設の診療性事者等を中心に、小児がん対策の目的や意義、患者やその家族が利用できる制度や関係機関との連携体制、自施設で提供した診療・患者支援の体制について学ぶ機会を年1回以上確保している。 1施設の診療性事者等を中心に、小児がん対策の目的や意義、患者やその家族が利用できる制度や関係機関との連携体制、自施設で提供した診療・患者支援の体制について学ぶ機会を年1回以上確保している。 1元のがん診療に携わる全ての診療従事者が受講している。 1元がんに連携病院や地域の医療機関等の多職種の診療従事者も参加する小児がんの診療、相談支援、がん登録及び臨床試験等に関する研 等を毎年定期的に開催し、人材育成等に努めている。 1元がんに関する研修等の回数および研修プログラムの状況について別紙8に記載すること。 1元を提及び情報の収集提供	A A A A B	はい 別紙1 別紙7 はい はい はい はい はい	(はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ)	122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V	
造血器腫瘍について年間(令和3年1月1日~12月31日)新規症例数が少なくとも10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。 療実績等について別紙1および別紙7に記載すること。 才育成等 3施設において、1に掲げる診療体制その他要件に関連する取組のために必要な人材の確保や育成に積極的に取り組んでいる。 に、診療の質を高めるために必要な学会が認定する資格等の取得についても積極的に支援している。 学会・教育・研修活動のための予算が計上されている。 施文発表、学会発表等を病院業積集等で報告している。 2. 高病院の長は、当該拠点病院においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価 該医師等がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。 1施設の診療従事者等を中心に、小児がん対策の目的や意義、患者やその家族が利用できる制度や関係機関との連携体制、自施設で提供し 1. 診療・患者支援の体制について学ぶ機会を年1回以上確保している。 施設のが心診療に携わる全ての診療従事者が受講している。 応設のが心診療に携わる全での診療従事者が受講している。 ル児がん連携病院や地域の医療機関等の多職種の診療従事者も参加する小児がんの診療、相談支援、がん登録及び臨床試験等に関する研 第を毎年定期的に開催し、人材育成等に努めている。 現がんに関する研修等の回数および研修プログラムの状況について別紙8に記載すること。 後支援及び情報の収集提供 3. 4. 4. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 5.	A A A A A A A A A	はい 別紙1 別紙7 はい はい はい はい はい はい	(はい/いいえ)	122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136	V V V V V V V	
造血器腫瘍について年間(令和3年1月1日~12月31日)新規症例数が少なくとも10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。 療実績等について別紙1および別紙7に記載すること。 才育成等 施設において、1に掲げる診療体制その他要件に関連する取組のために必要な人材の確保や育成に積極的に取り組んでいる。 に、診療の質を高めるために必要な学会が認定する資格等の取得についても積極的に支援している。 学会・教育・研修活動のための予算が計上されている。 論文発表、学会発表等を病院業績集等で報告している。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	A A A A B	はい 別紙1 別紙7 はい はい はい はい はい	(はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ)	122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V	
造血器腫瘍について年間(令和3年1月1日~12月31日)新規症例数が少なくとも10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。 療実績等について別紙1および別紙7に記載すること。 1育成等 1施設において、1に掲げる診療体制その他要件に関連する取組のために必要な人材の確保や育成に積極的に取り組んでいる。 に、診療の質を高めるために必要な学会が認定する資格等の取得についても積極的に支援している。 学会・教育・研修活動のための予算が計上されている。 論文発表、学会発表等を病院業績集等で報告している。 息点病院の長は、当該拠点病院においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価該医師等がその専門性を十分に予維定さる体制を登論している。 地設の診療で書等を中心に、小児がん対策の目的や意義、患者やその家族が利用できる制度や関係機関との連携体制、自施設で提供し、診療・患者支援の体制について学ぶ機会を年1回以上確保している。 施設の診療で書等を中心に、小児がん対策の目的や意義、患者やその家族が利用できる制度や関係機関との連携体制、自施設で提供し、診療・患者支援の体制について学ぶ機会を年1回以上確保している。 ル別がんご携持わる全ての診療従事者が受講している。 小児がんご帳持たの全ての診療である職所の診療従事者も参加する小児がんの診療、相談支援、がん登録及び臨床試験等に関する研 等を毎年定期的に開催し、人材育成等に努めている。 現がんに関する研修等の回数および研修プログラムの状況について別紙8に記載すること。 及支援及び情報の収集提供 (人相談支援センター) いも⑤に掲げる相談支援を行う機能を有する部門(以下「がん相談支援センター」という。なお、病院固有の名称との併記を認めた上で、「がん 該支援センター」と表記すること。)を設置している。 内の見やすい場所にがん相談支援をつくによる相談支援を受けられる旨の掲示をするなど、がん相談支援センターについて積極的に広報し	A A A A A B A A A	はい 別紙1 別紙7 はい はい はい はい はい はい はい	(はい/いいえ)	122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V	
造血器腫瘍について年間(令和3年1月1日~12月31日)新規症例数が少なくとも10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。 療実績等について別紙1および別紙7に記載すること。 才育成等 3施設において、1に掲げる診療体制その他要件に関連する取組のために必要な人材の確保や育成に積極的に取り組んでいる。 に、診療の質を高めるために必要な学会が認定する資格等の取得についても積極的に支援している。 学会・教育・研修活動のための予算が計上されている。 動文発表、学会発表等を病院業績集等で報告している。 2点病院の長は、当該拠点病院においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価 該医師等がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。 1施設の診療徒事者等を中心に、小児がん対策の目的や意義、患者やその家族が利用できる制度や関係機関との連携体制、自施設で提供し 5診療・患者支援の体制について学ぶ機会を年1回以上確保している。 施設の診療徒事者等を中心に、小児がん対策の目的や意義、患者やその家族が利用できる制度や関係機関との連携体制、自施設で提供し 5診療・患者支援の体制について学ぶ機会を年1回以上確保している。 施設のがん診療に携わる全での診療徒事者が受講している。 小児がん連携病院や地域の医療後間等の多職種の診療従事者も参加する小児がんの診療、相談支援、がん登録及び臨床試験等に関する研 を毎年定期的に開催し、人材育成等に努めている。 別でがんに関する研修等の回数および研修プログラムの状況について別紙8に記載すること。 後支援及び情報の収集提供 3ん相談支援を行う機能を有する部門(以下「がん相談支援センター」という。なお、病院固有の名称との併記を認めた上で、「がん 談支援センター」と表記すること。)を設置している。 内の見やすい場所にがん相談支援をつつによる相談支援を受けられる旨の掲示をするなど、がん相談支援センターについて積極的に広報しいる。	A A A A A A A	はい 別紙1 別紙7 はい はい はい はい はい はい	(はい/いいえ)	122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136	V V V V V V V	
造血器腫瘍について年間(令和3年1月1日~12月31日)新規症例数が少なくとも10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。 療実績等について別紙1および別紙7に記載すること。 才育成等 施設において、1に掲げる診療体制その他要件に関連する取組のために必要な人材の確保や育成に積極的に取り組んでいる。 に、診療の質を高めるために必要な学会が認定する資格等の取得についても積極的に支援している。 学会・教育・研修活動のための予算が計上されている。 論文発表、学会発表等を病院業績集等で報告している。 論文発表、学会発表等を病院業績集等で報告している。 追該服の高病院においてが心医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実積等を定期的に評価 該医師等がその専門性を十分に発揮できな体制を整備している。 1施設の診療従事者等を中心に、小児がん対策の目的や意義、患者やその家族が利用できる制度や関係機関との連携体制、自施設で提供し診療・患者支援の体制について学ぶ機会を年1回以上確保している。 地震放のが心診療に携わることの診療性事者が受損している。 地震放いが心診療に携わることの診療性事者が受損している。 地震放いが心診療に携わることの診療性事者が受損している。 地別が心に関する研修等の回数はよび研修プログラムの状況について別紙8に記載すること。 及支援及び情報の収集提供 (人相談支援センター)と表記すること。)を設置している。 内の見やすい場所にがん相談支援を行う機能を有する部門(以下「がん相談支援センター」という。なお、病院固有の名称との併記を認めた上で、「がん談支援センター」と表記すること。)を設置している。 内の見やすい場所にがん相談支援を行う機能を有する部門(以下「がん相談支援センター」という。なお、病院固有の名称との併記を認めた上で、「がんしま者とンター」と表記すること。)を設置している。 内の見やすい場所にがん相談支援センターによる相談支援を受けられる盲の掲示をするなど、がん相談支援センターについて積極的に広報しいる。 児がん患者及びAYA世代にあるがん患者に対しては、小児・AYA世代のがんに関する一般的な情報提供、療育・発達への支援等に加えて、ラ	A A A B A A A	はい 別紙1 別紙7 はい はい はい はい はい はい はい	(はい/いいえ)	122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137	V V V V V V V	
造血器腫瘍について年間(令和3年1月1日~12月31日)新規症例数が少なくとも10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。 康実精等について別紙1および別紙7に記載すること。 才育成等 施設において、1に掲げる診療体制その他要件に関連する取組のために必要な人材の確保や育成に積極的に取り組んでいる。 に、診療の質を高めるために必要な学会が認定する資格等の取得についても積極的に支援している。 学会・教育・研修活動のための予算が計上されている。 論文免表、学会免表等を病院業積集等で報告している。 。 (1.病病院の長は、当該拠点病院においてが心医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価該医師等がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。 施政の診療徒事者等を中心に、小児がん対策の目的や意義、患者やその家族が利用できる制度や関係機関との連携体制、自施設で提供した診療・患者支援の体制について学ぶ機会を年1回以上確保している。 地震のがん診療に携わる全ての診療従事者が受講している。 地見がが心連携病院や地域の医療機関等の多職種の診療徒事者も参加する小児がんの診療、相談支援、が心登録及び臨床試験等に関する研算を毎年定期的に開催し、人材育成等に努めている。 現がが、に関する研修等の回数および研修プログラムの状況について別紙8に記載すること。 2を提及び情報の収集提供 いん相談支援とシター いたの(3)に掲げる相談支援を行う機能を有する部門(以下「がん相談支援センター」という。なお、病院固有の名称との併記を認めた上で、「がん談支援センター」と表記すること。)を設置している。 内の見やすい場所にがん相談支援をフーによる相談支援を受けられる旨の掲示をするなど、がん相談支援センターについて積極的に広報しいる。 内の見やすい場所にがん相談支援センターによる相談支援を受けられる旨の掲示をするなど、がん相談支援セ、療育・発達への支援等に加えて、ラフステーンに応じた長期的な視点から、他の医療機関や行政機関、教育機関等と連携し、就学・就労・生殖医療等への相談対応や患者活動へ	A A A A A A A	はい 別紙1 別紙7 はい はい はい はい はい はい はい	(はい/いいえ)	122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V	
造血器腫瘍について年間(令和3年1月1日~12月31日)新規症例数が少なくとも10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。 康実績等について別紙1および別紙7に記載すること。 才育成等 1施設において、1に掲げる診療体制その他要件に関連する取組のために必要な人材の確保や育成に積極的に取り組んでいる。 に、診療の質を高めるために必要な学会が認定する資格等の取得についても積極的に支援している。 学会・教育・研修活動のための予算が計上されている。 論文発表、学会発奏を病院業績集等で報告している。 「金倉・教育・研修活動のための予算が計上されている。 」 「金倉・教育・研修活動のための予算が計上されている。 「金倉・教育・研修活動のための予算が計上されている。 「金倉・教育・研修活動のための予算が計上されている。 「金倉・教育・研修活動でための予算が計上されている。 「金倉・教育・研修活動でための予算が計上されている。 「金倉・教育・研修活動でための予算が計上されている。 「金倉・教育・研修活動でための予算が計上されている。 「金倉・教育・研修活動でための予算が計上されている。 「金倉・教育・本籍できる体制を整備している。 「金倉・教育・本籍できる体制を整備している。 「金倉・都・書を与中心に、・児がん連携病院や地域の医療機関等の多職種の診療従事者も参加する小児がんの診療、相談支援、がん登録及び臨床試験等に関する研修を存して関する研修すの回数および研修プログラムの状況について別紙8に記載すること。 「現がんに関する研修等の回数および研修プログラムの状況について別紙8に記載すること。 「独技技術を関する研修等の回数および研修プログラムの状況について別紙8に記載すること。 「独技技化ンター」と表記すること。)を設置している。 「本技技化ンター」と表記すること。)を設置している。 「本技技化ンター」と表記すること。)を設置している。 「本技技術を関するなど、がん相談支援を行う機能を有する部門(以下「がん相談支援センター」と表記すること。 「本技技術を関するなど、がん相談支援をとクーについて積極的に広報しいる。 「現がん患者及びAYA世代にあるがん患者に対しては、・・リア・AYA世代のがんに関する一般的な情報提供、療育・発達への支援等に加えて、ラフィステージに応じた長期的な視点から、他の医療機関や行政機関、教育機関等と連携し、就学・就労・生殖医療等への相談対応や患者活動へ支援等の確広・相談支援が必要となることに十分に留意している。	A A A B A A A	はい 別紙1 別紙7 はい はい はい はい はい はい はい	(はい/いいえ)	122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137	V V V V V V V	
造血器腫瘍について年間(令和3年1月1日~12月31日)新規症例数が少なくとも10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。 療実績等について別紙1および別紙7に記載すること。 才育成等 a 施設において、1に掲げる診療体制その他要件に関連する取組のために必要な人材の確保や育成に積極的に取り組んでいる。 に、診療の質を高めるために必要な学会が認定する資格等の取得についても積極的に支援している。 学会・教育・研修活動のための予算が計上されている。 論文発表、学会発表等を病院業績集等で報告している。 虚病病院の長は、当該拠点病院においてが人医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価 該医師等がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。 虚態の診療徒事者等を中心に、小児が人対策の目的や意義、患者やその家族が利用できる制度や関係機関との連携体制、自施設で提供し 診療・患者支援の体制について学が機会を年1回以上確保している。 ル児が人連携病院や地域の医療機関等の多職種の診療従事者も参加する小児がんの診療、相談支援、がん登録及び臨床試験等に関する研 をを毎年定期的に開催し、人材育成等に努めている。 別兄がんに関する研修等の回数および研修プログラムの状況について別紙8に記載すること。 後支援及び情報の収集提供 3.441版支援センター から⑤に掲げる相談支援を行う機能を有する部門(以下「がん相談支援センター」と表記すること。2.6を設置している。 内の見やすい場所にがん相談支援を行う機能を有する部門(以下「がん相談支援センター」と表記すること。2.6と設置している。 内の見やすい場所にがん相談支援を行う機能を有する部門(以下「がん相談支援センター」とあれる指数支援を受けられる旨の掲示をするなど、がん相談支援センターについて積極的に広報しいる。 2.725~以下にひた長期的な機能を表する発達への支援等に加えて、ラフステージに応じた長期的な機由の、他の医療機関や行政機関、教育機関等と連携し、就学・就労・生殖医療等への相談対応や患者活動へ支援等の幅広い相談支援が必要となることに十分に留意している。 者のみならず、患者のきょうだいを含めその家族に対する支援も行っている。	A A A A A A A A	はい 別紙1 別紙7 はい はい はい はい はい はい はい はい はい	(はい/いいえ)	122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V	
造血器腫瘍について年間(令和3年1月1日~12月31日)新規症例数が少なくとも10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。 療実績等について別紙1および別紙7に記載すること。 才育成等 1施設において、1に掲げる診療体制その他要件に関連する取組のために必要な人材の確保や育成に積極的に取り組んでいる。 に、診療の質を高めるために必要な学会が認定する資格等の取得についても積極的に支援している。 学会・教育・研修活動のための予算が計上されている。 論文発表、学会発表等を病院業績集等で報告している。 追点病院の長は、当該拠底病院においてが心医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価 該医師等がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。 地流版の診療は事者等を中心に、小児が人対策の目的や意義、患者やその家族が利用できる制度や関係機関との連携体制、自施設で提供し 診療・患者支援の体制について学ぶ機会を年1回以上確保している。 施設のが心診療に携わる全ての診療従事者が受講している。 ル門が心に関する研修等の回数および研修プログラムの状況について別紙8に記載すること。 取支援及び情報の収集提供 いれに関する研修等の回数および研修プログラムの状況について別紙8に記載すること。 取支援及び情報の収集提供 いれます。 いる。 「現がんに関する研修等の回数および研修プログラムの状況について別紙8に記載すること。 取支援とびを対している。 の見やがい場所にがん相談支援を行う機能を有する部門(以下「がん相談支援センター」という。なお、病院固有の名称との併記を認めた上で、「がん該支援センター」と表記すること。)を設置している。 の見やすい場所にがれ相談支援を行う機能を有する部門(以下「がん相談支援センター」という。なお、病院固有の名称との併記を認めた上で、「がんれま変量センター」とよ表記すること。 な技権となるというに掲げる相談支援を行う機能を有する部門(以下「がん相談支援をクー」という。なお、病院固有の名称との併記を認めた上で、「がん」 な支援をの情にがは場がなりませなが、またが、といて積極的に広報しいる。 は、おはいまないは、おはいまないは、は、小児・ダハロに関する一般的な情報提供、療育・発達への支援等に加えて、ラフステージに応じた長期的な視点から、他の医療機関や方数機関、教育機関等と連携し、就学・就労・生殖医療等への相談対応や患者活動へ支援等の個広い相談支援が必要となるとに十分に回意している。 本のみならず、患者のきょうだいを含めその家族に対する支援も行っている。 広報の手段について簡潔に記載すること(例: 医療機関のwebサイトに掲載)	A A A A A A A A	はい 別紙1 別紙7 はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	(はい/いいえ)	122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V	
造血器腫瘍について年間(令和3年1月1日~12月31日)新規症例数が少なくとも10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。 療実績等について別紙1および別紙7に記載すること。 才育成等 3施設において、1に掲げる診療体制その他要件に関連する取組のために必要な人材の確保や育成に積極的に取り組んでいる。 に、診療の質を高めるために必要な学会が認定する資格等の取得についても積極的に支援している。 学会、教育・研修活動のための予算が計上されている。 論文発表、学会免表等を病院業績集等で報告している。 点点病院の長は、当該拠点病院においてが心医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価該医師等がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。 は、意味を表、学会免表等を病院業績集等で報告している。 は、対象・患者支援の体制について学ぶ機会を年1回以上確保している。 施設のがん診療に携わる全ての診療従事者が受講している。 いまが、連携病院や地域の医療機関等の多職種の診療従事者も参加する小児がんの診療、相談支援、がん登録及び臨床試験等に関する研修を毎年定期的に開催し、人材育成等に努めている。 現がん心を振じめがん診療に携わる全ての診療従事者が受講している。 現がんに関する研修等の回数および研修プログラムの状況について別紙8に記載すること。 後支援及び情報の収集提供 いれ間数支援センター いら⑤に掲げる相談支援を行う機能を有する部門(以下「がん相談支援センター」という。なお、病院固有の名称との併記を認めた上で、「がん談支援センター」と表記すること。)を設置している。 内の見やすい場所にがん相談支援を受けられる旨の掲示をするなど、がん相談支援センターについて積極的に広報しいる。 見がん患者及びAYA世代にあるがん患者に対しては、小児・AYA世代のがんに関する一般的な情報提供、療育・発達への支援等に加えて、ラフステージに応じた長期的な視点から、他の医療機関や行政機関、教育機関等と連携し、就学・就労・生殖医療等への相談対応や患者活動へ支援等の幅広い相談支援が必要となることに十分に留意している。 者のみならず、患者のきょうだいを含めその家族に対する支援も行つている。 者のみならず、患者のきょうだいを含めその家族に対する支援も行つている。 在敬の手段について簡潔に記載すること(例: 医療機関のwebサイトに掲載)	A A A A A A A A	はい 別紙17 はい はい はい はい はい はい はい はい はい り はい り り り り	(はい/いいえ)	122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V	
造血器腫瘍について開催(令和3年1月1日~12月31日)新規症例数が少なくとも10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。 療実績等について別紙1および別紙7に配載すること。 才育成等 建設しまいて、1に掲げる診療体制その他要件に関連する取組のために必要な人材の確保や育成に積極的に取り組んでいる。 は、診療の質を高めるために必要な学会が認定する資格等の取得についても積極的に支援している。 学会・教育・研修活動のための予算が計上されている。 論文発表、学会発表等を病院業績集等で報告している。 自病院の長は、当該拠点病院においてが人医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価 診医師等がその専門性をナウに発揮できる体制を整備している。 建設の診療従事者等を中心に、小児がん対策の目的や意義、患者やその家族が利用できる制度や関係機関との連携体制、自施設で提供し 診療・患者支援の体制について学が機会を年1回以上確保している。 北設のが心液療に携わるその診療従事者が受講している。 ル児がん連携病院や地域の医療機関等の多職種の診療従事者も参加する小児がんの診療、相談支援、がん登録及び臨床試験等に関する研 等を毎年定期的に開催し、人材育成等に努めている。 児がんに関する研修等の回数および研修プログラムの状況について別紙8に記載すること。 数支援センター から⑤に掲げる相談支援を行う機能を有する部門(以下「がん相談支援をサター」という。なお、病院固有の名称との併記を認めた上で、「がん 該支援センター」と表記すること。)を設置している。 内の見やすい場所にがん相談支援を行う機能を有する部門(以下「がん相談支援を受けられる旨の掲示をするなど、がん相談支援センターについて積極的に広報し いる。 内の見やすい場所にがん相談支援とフターによる相談支援を受けられる旨の掲示をするなど、がん相談支援センターについて積極的に広報し いる。 内の見やすい場所にがん相談支援とフターによる相談支援を受けられる旨の掲示をするなど、がん相談支援センターについて積極的に広報し いる。 本報の手段について簡潔に記載すること。 が、相談支援とフターの体制について別紙9に記載すること。 が、4個等支援センターの体制について別紙9に記載すること。 が、4個該支援センターの体制について別紙9に記載すること。 が、4個該支援センターの体制について別紙9に記載すること。 が、4個該支援センターの体制について別紙9に記載すること。 が、4個該支援センターの内について別紙9に記載すること。	A A A A A A	はい 別紙1 別紙7 はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	(はい/いいえ)	122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V	
造血器腫瘍について開催(令和3年1月1日~12月31日)新規症例数が少なくとも10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。 療実績等について別紙1および別紙7に記載すること。 * 対育成等 自施設において、1に掲げる診療体制その他要件に関連する取組のために必要な人材の確保や育成に積極的に取り組んでいる。 に、診療の質を高めるために必要な学会が認定する資格等の取得についても積極的に支援している。 学会・教育・研修活動のための予算が計上されている。 論文旁表・学会発表等を有限業績集等で報告している。 追点病院の長は、当該拠点病院においてが人医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価・ 諸庭医師等がたの専門性をからに発してきる体制を整備している。 心点病院の長は、当該拠点病院においてが人医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価・ 諸庭医的等がたの専門性を分に発揮できる体制を整備している。 心息病院の長は、当該拠点病院について学が機会を年1回以上確保している。 心見が心連携病院や地域の医療機関等の多職種の診療従事者も参加する小児がんの診療、相談支援、がん登録及び臨床試験等に関する研 等を毎年定期的に開催し、人材育成等に努めている。 小児が心に関する研修等の回数および研修プログラムの状況について別紙8に記載すること。 数支援を少ケー から⑤に掲げる相談支援を行う機能を有する部門(以下「がん相談支援を受けられる旨の掲示をするなど、がん相談支援をシターによる相談支援を受けられる旨の掲示をするなど、がん相談支援をシターについて積極的に広報しいる。 明の見やすい場所にがん相談支援とシターによる相談支援を受けられる旨の掲示をするなど、がん相談支援センターについて積極的に広報しいる。 現の手段につい場所にがん相談支援とシターによる相談支援を受けられる旨の掲示をするなど、がん相談支援とシターについて積極的に広報しいる。 現が心患者及びAYA世代にあるが心患者に対しては、小児・AYA世代のがんに関する一般的な情報提供、療育・発達への支援等に加えて、ラフステージに応じた長期的な視点から、他の医療機関や行政機関、教育機関等と連携し、就学・就労・生殖医療等への相談対応や患者活動へ支援等のはの相談支援が必要となることに十分に留意している。 本のみならず、患者のきょうだいを含めその家族に対する支援も行っている。 本報の手段について簡潔に記載すること(例) 医療機関のwebサイトに掲載) がん相談支援とシターの問い合わせ窓口について別紙810に記載すること。	A A A A A A	はい 別紙17 はい はい はい はい はい はい はい はい はい り はい り り り り	(はい/いいえ)	122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V	
造血器腫瘍について年間(令和3年1月1日~12月31日)新規症例数が少なくとも10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。 療実績等について別紙1および別紙7に記載すること。 1育成等 3施設において、1に掲げる診療体制その他要件に関連する取組のために必要な人材の確保や育成に積極的に取り組んでいる。 に、診療の質を高めるために必要な学会が認定する資格等の取得についても積極的に支援している。 学会、教育・研修活動のための予算が計上されている。 論文系表、学会発表等を病院業積集等で報告している。 高病際の長は、当該拠点病院においてがA医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実積等を定期的に評価 該医師等がその専門性をナリに発程できる体制を整備している。 治療院の表は、当該拠点病院においてがA医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実積等を定期的に評価 診療・患者支援の体制について学ぶ機会を1回以上確保している。 地施設のがA診療に携わる全ての診療従事者が受講している。 現がAに選携病院や地域の医療機関等の多職種の診療従事者も参加する小児がAの診療、相談支援、がA登録及び臨床試験等に関する研 等を毎年定期的に開催し、A材育成等に努めている。 現がAに関する研修等の回数および研修プログラムの状況について別紙8に記載すること。 を支援及び情報の収集提供 (A相談支援を行う機能を有する部門(以下「がA相談支援センター」という。なお、病院固有の名称との併記を認めた上で、「がA 談支援センター」と表記すること。)を設置している。 内の見やすい場所にがA相談支援センターによる相談支援を受けられる盲の掲示をするなど、がA相談支援センターについて積極的に広報しいる。 現の場合は、相談支援を対すること。)を設置している。 オのみならず、患者のきょうだいを含めその家族に対する支援も行っている。 本報の手段について簡潔に記載すること(例: 医療機関のwebサイトに掲載) がA相談支援センターの体制について別紙10に記載すること。 国立研究開発法人国立がA研究センター(以下「国立がA研究センター」という。)による「がA相談支援センター相談員基礎研修」(1)(2)を受講後、国立成育医療研究センターの関い合わせ窓 回について別紙10に記載すること。	A A A A A A A A	はい 別紙1 別紙7 はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	(はい/いいえ)	122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 140 141 142 143	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V	
適血器腫瘍について卑鄙(令和3年1月1日~12月31日) 新規症例数が少なくとも10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。 療実績等について別紙1および別紙7に記載すること。 才育成等 国施設において、1に掲げる診療体制その他要件に関連する取組のために必要な人材の確保や育成に積極的に取り組んでいる。 に、診療の質を高めるために必要な学会が認定する資格等の取得についても積極的に支援している。 学会・教育・研修活動のための予算が計上されている。 協文発表、学会発表等を病院業積集等で報告している。 国点病院の長は、当該拠点病院においてがたの優無に関わる事門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価 該医師等がその専門性を十分に免揮できる体制を整備している。 国意療院の診療化事者等を中心に、小児がん対策の目的や意義、患者やその家族が利用できる制度や関係機関との連携体制、自施設で提供し 診診療、患者支援の体制について学ぶ機会を4年1回以上確保している。 施設のがん診療に携わる全での診療従事者が受講している。 ル語及びの診療促患者が優にといて学ぶ機会を4年1回以上確保している。 施設のがん診療に携わる全での診療従事者が受講している。 現がんに関する研修等の回数および研修プログラムの状況について別紙81に配載すること。 気支援及び情報の収集提供 (人相談支援とウター) (人相談支援とつター) かららに掲げる相談支援を持行機能を有する部門(以下「がん相談支援センター」という。なお、病院固有の名称との併記を認めた上で、「がん・該支援センター」と表記すること。)と設置している。 の見やすい場所にがん相談支援を行う機能を有する部門(以下「がん相談支援センター」という。なお、病院固有の名称との併記を認めた上で、「がん・検支援センター」以場所にがん相談支援といターについて積極的に広報しいる。 フステージに応じた長期的な現点から、他の医療機関や行政機関、教育機関等と連携し、就学・就労・生殖医療等への相談対応や患者活動へ支援等の幅広い相談支援が必要となることに十分に留意している。 在報の手段について簡潔に記載すること(例:医療機関のwebサイトに掲載) がん相談支援センターの体制について別紙16に配載すること。 なの手段について簡潔に記載すること(例:医療機関のwebサイトに掲載) がん相談支援センターの体制について別紙16に記載すること。 がん相談支援センターの間いらわせ窓口について別紙16に記載すること。 がん相談支援センターの体制について分数はであるを1人以上配置でいる。 相談支援センターの情いをかせるの方に、「小児がん相談支援・セター」という。)による「がん相談支援に携わる者を1人以上配置でいる。 相談支援に携わる者は、対応の質の向上のために、「小児がん拠点専門相談員継続研修」等により定期的な知識の更新に努めのている。	A A A A A A A A	はい 別紙17 はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	(はい/いいえ)	122 123 124 125 126 127 128 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143		
造血器腫瘍について年間(令和3年1月1日~12月31日)新規症例数が少なくとも10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。 療実精等について別載1および別載7に記載すること。 才育成等 1施設において、1に掲げる診療体制その他要件に関連する取組のために必要な人材の確保や育成に積極的に取り組んでいる。 に、診療の質を高めるために必要な学会が認定する資格等の取得についても積極的に支援している。 学会・教育・研修活動のための予算が計上されている。	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	はい 別紙1 別紙7 はい はい はい はい はい はい はい はい はい り はい り はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	(はい/いいえ)	122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144		
適血器腫瘍について年間(令和3年1月1日~12月31日) 新規症例数が少なくとも10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。 療実精等について別載1および別載7に配載すること。	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	はい 別紙17 はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	(はい/いいえ)	122 123 124 125 126 127 128 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143		
論文発表、学会発表等を病院業績集等で報告している。 拠点病院の長は、当該拠点病院においてが心医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の専門性及び活動実績等を定期的に評価 当該医師等がその専門性を十分に発揮できる体制を増している。 自施設の診療従事者等を中心に、小児が心対策の目的や意義、患者やその家族が利用できる制度や関係機関との連携体制、自施設で提供し 診療・患者支援の体制について学ぶ機会を年1回以上確保している。 施設の診療従事者が受講している。 ル児が心診療に携わる全ての診療従事者が受講している。 ルリパい連携病院や地域の医療機関等の多職種の診療従事者も参加する小児がんの診療、相談支援、が心登録及び臨床試験等に関する研 等を毎年定期的に開催し、人材育成等に努めている。 リリパい連携病院や地域の医療機関等の多職種の診療従事者も参加する小児がんの診療、相談支援、が心登録及び臨床試験等に関する研 等を毎年定期的に開催し、人材育成等に努めている。 リリアが心に関する研修等の回数および研修プログラムの状況について別報8に記載すること。 後支援及び情報の収集提供 がん相談支援を行う機能を有する部門(以下「がん相談支援センター」という。なお、病院固有の名称との併配を認めた上で、「がん 談支援センター」と表記すること。)を設置している。 以見が心患者なびAYA世代にあが心患者に対しては、小児・AYA世代のがんに関する一般的な情報提供、療育・発達への支援等に加えて、ラフステージに応じた長期的な視点から、他の医療機関や行政機関、教育機関等と連携し、就学・就労・生殖医療等への相談対応や患者活動へ 支援等の幅広い相談支援が必要となることに十分に留意している。 「法報の手段について簡潔に記載すること(例: 医療機関のwebサイトに掲載) がん相談支援でシターの体制について別報9に記載すること。 「加利認支援センターの問い合かせ窓口について別報1の記載すること。 「加利認支援センターの問い合かせ窓口について別報1の記載すること。 「加利認支援センターの問い合かせ窓口について別報1の記載すること。 「加利認支援とシターの問い合かせ窓口について別報1の記載すること。 「加利認支援とシターの問い合かせ窓口について別報1の記載すること。 「加利認支援とシターの問い合かせ窓口について別報1の記載すること。 「加利認支援とシターの問い合かせ窓口について別報1の記載すること。 「加利認支援とシターの問い合称を定すなシターが実施する「小児がん研究センター」という。)による「がん相談支援に携わる者を1人以上配置している。 「相談支援に携わる者は、対応の質の向上のために、「小児がん側談真機械研修」等により定期的な知識の更新に努めている。 「小児がんに関する相談支援に携わる者を1人以上配置している。 「小児がんに関する相談支援に携わる者を1人以上配置している。 「小児がんに関する相談支援に携わる者を1人以上配置している。	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	はい 別紙1 別紙7 はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	(はい/いいえ)	122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 140 141 142 143 144 145 146 147		

「日本学生で、関・ランスを表現している。ことでは、「日本学生で、	③ 院内及び地域の診療従事者の協力を得て、院内外の小児がん患者・AYA世代にある患者及びその家族並びに地域の住民及び医療機関等か	Α	はい	(はい/いいえ)	150		٦٢
# 2012年、東京社の企業が少の場合の企業のの名類を含ったの場合を与り入の関係的でいる。	[©] らの相談寺に対応する体制を整備している。		17 1				- L
### 1997 (1997)					4		ΠL
からいまた。1975年の東京は中では、大のの名の、下側を開いていていた。					1 1		- L
(学の地質を持つように、アンスに、実施の政策のできないのできないのできない。		В		(はい/いいえ)			
# 20.							Ι,
### 2015年の一日の大き、は下の文庫を行っている。 (総合計画とついては、自分の金が画面の報じついては最近の大き組に、大きを作め、	2					<u> </u>	┪
日本市の大学の研究。	談支援センターにおいて、以下の業務を行っている。(相談件数については、1回の相談で複数の内容について相談された場合は、それぞれの	,	1010	(1010) 0 0 727	1		
************************************		Δ	(+1.)	(はハノハハえ)	160		٦٢
株式のなり、選手化でいる。	アの相談件数(令和3年1月1日~12月31日)				1		_ _
クロルマドニマーの記事が可能が正常の値向からている。	領域別の小児がん診療機能、診療実績および医療従事者の専門とする分野・経歴など、小児がん連携病院等および医療従事者に関する 情報の収集 提供をしている。	Α	はい	(はい/いいえ)	162	~	
中から小の場所のから表面の音音及の確認上の報酬に対応しま得としている。	イの相談件数(令和3年1月1日~12月31日)	-	1	件	163	~]
							-ا ل
### 2-05%、東京に対する経路体育の信息を指揮を対している。		-		-			٦r
2005年、第7日 (日本) 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1		-]
							┪
# おかっと 無知を心理なる を利用しています。	エのうち、就労に関する相談件数(令和3年1月1日~12月31日)	-	10	件		V	
### 2		-		• •			١,
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##		_		件 件			٦.
# おかとアンスを書き、地子も展出で対して、製造を行っている。		_					
大の画師教 (第20年7月12日) - 4		 			1		\dashv_{Γ}
クの間談者を含め3年月1日・2月月1日 - 1 年 か	キの相談件数(令和3年1月1日~12月31日)	-	4	件	177	~	Ι,
							┦┖
□ 整御領係をと着名会が共同で選ぎまらがペーケルーブルので表別や息音がついる。 □ 1 はい (はい/ソリス) 19 であるにして、小児が人産病院を映画の変更強関係に対して相互支限に関する支援を行っている。 □ 2 の一般に応じて、小児が人産病院を映画の変更強関係に対して相互支限に関する支援を行っている。 □ 2 小の個別を数を作的3年1月日~12月31日 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ケ 患者のきょうだいを含む家族に対する支援を行っている。	Α	はい	(はい/いいえ)	180	V	J١
# お客上形にて、小型が心道疾病院を地域の匿意を閲覧を注がて相談支援上度する更多であった。				''	181	~	١,
する書」にて、小学が必須構成的学生の意義と関係できまった。			はい		182		
サーター		_					۱,
大学校が長春					1	~]
解析が必要権の指し、対して、	- 1, 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	_			4		_ L
が、免疫者の性語に関する法性で保証を非常性では、でいる。 様性は、分類を含めている。 「おり、 (はい / しい) では、 (はい /		_	14	<u> </u> 1+			_
の	がん登録等の推進に関する法律(平成25年法律第111号)第44条第1項の規定に基づき定められた、院内がん登録の実施に係る指針(平成27	А	はい	(はいていいえ)	189		
の実際を担う者の人数。	- 吹出ぶ! 登録の比例に甘べも見さぶ! 研究 4、万一 新担併士!研修不到ウナ巫はてむけ ある古処到ウギヤツの世代も士士!吹出ぶ! 登録						-11
日本日本の会談情報や、予後含金が信報を図立から研奏センターに専用している。	の実務を担う者の人数。	А	1	人 1人以上	190	~	
	_ うち専従者の人数	-		人 (けいていいえ)			4,
議内が人を競を用することとが、他温病側の実施するが人列策等に必要な情報を提供している。					1		7
### 1945年後、日本時後の情報接換、でいる。		Α					
### 2000 #	・						
機模災害や感染症の流行などにより自院の診療状況に要化が生じた場合には、進やかに情報公舗をするよう努めている。		Α	はい	(はい/いいえ)	196	~	
情報提供の手段について簡潔に記載すること(例: 医療機関のwebサイトに掲載) - 医療機関のwebサイトに掲載 199		А	はい	(はい/いいえ)	197	_	T
199 19			医康嫩胆の				- L
保育士を配置している。		_	区 惊 饭 因 U W	ピックトに何戦			
小児がん患者の侵害に携わる侵害しの人数 - 2 人			141 >	(141 > 21 > 1 > 2 > 2			- ,,
解語等の特別支援学校または小中学校の病語・身体虚弱等の特別支援学級による教育支援(特別支援学校による訪問教育を含む。)が行われたいる。				人			┪
### 200 10 10 10 10 10 10 10		-	2	人	202	~	Ι,
特別支援学校、養護学校、の分校・分数室がある。		Α	はい	(はい/いいえ)	203	~	
# 特別支援学校(養護学校)による脂肪酸育を行っている。							4
温院時の復園および寝学支援が行われている。							
子どもの発達段階にのじた遊戯室等を設置している。	13/11人は、1人人及以下は/12のの即回が目でロッといい。			(はい/いいえ)	207	~	۵,
AVA世代(思春期および若年成人)のための場所を確保している。	病院内に特別支援学級が設置されている。	_	1.1.1		208		╢
長期滞在施設が自施設内に設置されている。	病院内に特別支援学級が設置されている。 退院時の復園および復学支援が行われている。	Α			209		
長期滞在施設が自施設内に設置されている。	病院内に特別支援学級が設置されている。 退院時の復園および復学支援が行われている。 子どもの発達段階に応じた遊戯室等を設置している。 AYA世代(思春期および若年成人)のための場所を確保している。	A A -	はい はい	(はい/いいえ) (はい/いいえ)	210		Ι,
家族等の希望により、24時間面会または患者の付き添いができる体制を構築している。	病院内に特別支援学級が設置されている。 退院時の復園および復学支援が行われている。 子どもの発達段階に応じた遊戯室等を設置している。 AYA世代(思春期および若年成人)のための場所を確保している。 家族等が利用できる長期滞在施設またはこれに準じる施設が整備されている。	A A - A	はい はい はい	(はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ)	210 211	V]]
□ 一の体制の質の向上についても積極的に取り組んでいる。	病院内に特別支援学級が設置されている。 退院時の復園および復学支援が行われている。 子どもの発達段階に応じた遊戯室等を設置している。 AYA世代(思春期および若年成人)のための場所を確保している。 家族等が利用できる長期滞在施設またはこれに準じる施設が整備されている。 最上記録を開きまたはこれに準じる施設が整備されている。	A A - A	はい はい はい 8	(はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) 部屋	210 211 212	V	
教育課程によらず、切れ目のない教育支援のためにICT(情報通信技術)等を活用した学習活動を含めた学習環境の整備を進めている。 A はい (はい/いいえ) 218 / 小児がん患者の精神的なケアに関して、対応方法や関係機関との連携について明確にしている。 A はい (はい/いいえ) 219 / 関係職種に情報共有を行う体制を構築している。 A はい (はい/いいえ) 220 / 自施設に精神科、心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 A はい (はい/いいえ) 221 / 自施設に精神科・心療内科等がない場合は、地域の医療機関と連携体制を確保している。 A はい (はい/いいえ) 221 / 自施設に精神科・心療内科等がなり場合は、地域の医療機関と連携体制を確保している。 A はい (はい/いいえ) 222 / しいえ (はない/いいえ) 222 / しいる (はない/いいえ) 222 / しいる (はない/いいえ) 222 / しいる (はない/いいえ) 224 / しいる (はない/いいえ) 225 / しいるの手段について、簡潔に記載すること(例: 医療機関のwebサイトに掲載) - たり、信息が、(はない/いいえ) 226 / しゃり (はない/いいえ) 227 / しいるの手段について、簡潔に記載すること(例: 医療機関のwebサイトに掲載) - 医療機関のwebサイトに掲載 229 / との手段について、簡潔に記載すること(例: 医療機関のwebサイトに掲載) - 医療機関のwebサイトに掲載 229 / との手段について、簡潔に記載すること(例: 医療機関のwebサイトに掲載) - 医療機関のwebサイトに掲載 229 / との手段について、簡潔に記載すること(例: 医療機関のwebサイトに掲載) - との書がないますること(例: 医療機関のwebサイトに掲載) - との書がないまするによりないます	病院内に特別支援学級が設置されている。 退院時の復園および復学支援が行われている。 子どもの発達段階に応じた遊戯室等を設置している。 AYA世代(思春期および若年成人)のための場所を確保している。 家族等が利用できる長期滞在施設またはこれに準じる施設が整備されている。 長期滞在施設が自施設内に設置されている。 長期滞在施設またはこれに準じる施設について別紙12に記載すること。	A A A A	はい はい はい 8 いいえ 別紙12	(はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) 部屋 (はい/いいえ)	210 211 212 213 214	<i>V V</i>	
小児がん患者の精神的なケアに関して、対応方法や関係機関との連携について明確にしている。	病院内に特別支援学級が設置されている。 退院時の復園および復学支援が行われている。 子どもの発達段階に応じた遊戯室等を設置している。 AYA世代(思春期および若年成人)のための場所を確保している。 家族等が利用できる長期滞在施設またはこれに準じる施設が整備されている。 長期滞在施設が自施設内に設置されている。 長期滞在施設またはこれに準じる施設について別紙12に記載すること。 家族等の希望により、24時間面会または患者の付き添いができる体制を構築している。 この体制の質の向上についても積極的に取り組んでいる。	A A - A A - A A A A A A A A A A A A A A	はい はい はい 8 いいえ 別紙12	(はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) 部屋 (はい/いいえ)	210 211 212 213 214 215	\(\frac{1}{\sigma} \)	
関係職種に情報共有を行う体制を構築している。	病院内に特別支援学級が設置されている。 退院時の復園および復学支援が行われている。 子どもの発達段階に応じた遊戯室等を設置している。 AYA世代(思春期および若年成人)のための場所を確保している。 家族等が利用できる長期滞在施設またはこれに準じる施設が整備されている。 ・	A A A A B	はい はい 8 いいえ 別紙12 はい はい	(はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) 部屋 (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ)	210 211 212 213 214 215 216 217	\(\frac{1}{\sqrt{V}} \)	
自施設に精神科、心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。	病院内に特別支援学級が設置されている。 退院時の復園および復学支援が行われている。 子どもの発達段階に応じた遊戯室等を設置している。 AYA世代(思春期および若年成人)のための場所を確保している。 家族等が利用できる長期滞在施設またはこれに準じる施設が整備されている。 長期滞在施設が自施設内に設置されている。 長期滞在施設におれに準じる施設について別紙12に記載すること。 家族等の希望により、24時間面会または患者の付き添いができる体制を構築している。 この体制の質の向上についても積極的に取り組んでいる。 患者のきょうだいに対する保育の体制整備を行っている。 教育課程によらず、切れ目のない教育支援のためにICT(情報通信技術)等を活用した学習活動を含めた学習環境の整備を進めている。	A A A B A	はい はい はい 8 いいえ 別紙12 はい はい	(はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) 部屋 (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ)	210 211 212 213 214 215 216 217 218	\(\text{\chi} \) \(\ch	
(自施設に精神科・心療内科等があり、自施設で小児がん患者の精神的なケアができる場合には"いいえ"を選択してください。) - いいえ (はいくいいえ) 222	病院内に特別支援学級が設置されている。 退院時の復園および復学支援が行われている。 子どもの発達段階に応じた遊戯室等を設置している。 AYA世代(思春期および若年成人)のための場所を確保している。 家族等が利用できる長期滞在施設またはこれに準じる施設が整備されている。 長期滞在施設が自施設内に設置されている。 長期滞在施設が自施設内に設置されている。 長期滞在施設またはこれに準じる施設について別紙12に記載すること。 家族等の希望により、24時間面会または患者の付き添いができる体制を構築している。 この体制の質の向上についても積極的に取り組んでいる。 患者のきょうだいに対する保育の体制整備を行っている。 教育課程によらず、切れ目のない教育支援のためにICT(情報通信技術)等を活用した学習活動を含めた学習環境の整備を進めている。 小児がん患者の精神的なケアに関して、対応方法や関係機関との連携について明確にしている。	A A A B A A	はい はい はい 8 いいえ 別紙12 はい はい はい	(はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) 部屋 (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ)	210 211 212 213 214 215 216 217 218	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V	
### ### #############################	病院内に特別支援学級が設置されている。 退院時の復園および復学支援が行われている。 子どもの発達段階に応じた遊戯室等を設置している。 AYA世代(思春期および若年成人)のための場所を確保している。 家族等が利用できる長期滞在施設またはこれに準じる施設が整備されている。 長期滞在施設が自施設内に設置されている。 長期滞在施設またはこれに準じる施設が整備されている。 長期滞在施設またはこれに準じる施設について別載12に記載すること。 家族等の希望により、24時間面会または患者の付き添いができる体制を構築している。 この体制の質の向上についても積極的に取り組んでいる。 患者のきょうだいに対する保育の体制整備を行っている。 教育課程によらず、切れ目のない教育支援のためにICT(情報通信技術)等を活用した学習活動を含めた学習環境の整備を進めている。 内児がん患者の精神的なケアに関して、対応方法や関係機関との連携について明確にしている。 関係職種に情報共有を行う体制を構築している。	A A A A A A	はい はい はい 8 いいえ 別紙12 はい はい はい	(はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) 部屋 (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ)	210 211 212 213 214 215 216 217 218 219	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V	
拠点病院や小児がん連携病院とも連携し、オールジャバン体制で臨床研究を推進している。 A はい (はい/しいえ) 224 / 治験を除く臨床研究を行うに当たっては、臨床研究と(車成29年法律第16号)に則った体制を整備している。 A はい (はい/しいえ) 225 / 進行中の治験を除く臨床研究の概要および過去の治験を除く臨床研究の成果を広報している。 A はい (はい/しいえ) 226 / 広報の手段について、簡潔に記載すること(例: 医療機関のwebサイトに掲載) - 九州大学医学部等のwebサイトに掲載 227 / 15 / 15 / 15 / 15 / 15 / 15 / 15 / 1	病院内に特別支援学級が設置されている。 退院時の復園および復学支援が行われている。 子どもの発達段階に応じた遊戯室等を設置している。 AYA世代(思春期および若年成人)のための場所を確保している。 家族等が利用できる長期滞在施設またはこれに準じる施設が整備されている。 長期滞在施設が自施設内に設置されている。 長期滞在施設またはこれに準じる施設について別無12に記載すること。 家族等の希望により、24時間面会または患者の付き添いができる体制を構築している。 この体制の質の向上についても積極的に取り組んでいる。 患者のきょうだいに対する保育の体制整備を行っている。 教育課程によらず、切れ目のない教育支援のためにICT(情報通信技術)等を活用した学習活動を含めた学習環境の整備を進めている。 小児がん患者の精神的なケアに関して、対応方法や関係機関との連携について明確にしている。 関係職種に情報共有を行う体制を構築している。 自施設に精神科、心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 自施設に精神科、心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。	A A A A A	はい はい 8 いいえ 別紙12 はい はい はい はい	(はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) 部屋 (はい/いいえ)	210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V	
 治験を除く臨床研究を行うに当たっては、臨床研究法(平成29年法律第16号)に則った体制を整備している。 進行中の治験を除く臨床研究の概要および過去の治験を除く臨床研究の成果を広報している。 広報の手段について、簡潔に記載すること(例: 医療機関のwebサイトに掲載) 自施設で参加可能な治験について、その対象であるがんの種類および薬剤名等を広報している。 広報の手段について、での対象であるがんの種類および薬剤名等を広報している。 広報の手段について、簡潔に記載すること(例: 医療機関のwebサイトに掲載) 佐娘の手段について、簡潔に記載すること(例: 医療機関のwebサイトに掲載) 佐療機関のwebサイトに掲載 と療機関のwebサイトに掲載 と療機関のwebサイトに掲載 と療機関のwebサイトに掲載 229 協床研究を支援する専門の部署を設置している。 股間にない場合は設置の予定時期 年月(西暦XXXX年XX月) 230 	病院内に特別支援学級が設置されている。 退院時の復園および復学支援が行われている。 子どもの発達段階に応じた遊戯室等を設置している。 AYA世代(思春期および若年成人)のための場所を確保している。 家族等が利用できる長期滞在施設またはこれに準じる施設が整備されている。 長期滞在施設が自施設内に設置されている。 長期滞在施設またはこれに準じる施設が整備されている。 長期滞在施設またはこれに準じる施設について別無12に記載すること。 家族等の希望により、24時間面会または患者の付き添いができる体制を構築している。 この体制の質の向上についても積極的に取り組んでいる。 患者のきょうだいに対する保育の体制整備を行っている。 教育課程によらず、切れ目のない教育支援のためにICT(情報通信技術)等を活用した学習活動を含めた学習環境の整備を進めている。 小児がん患者の精神的なケアに関して、対応方法や関係機関との連携について明確にしている。 関係職種に情報共有を行う体制を構築している。 自施設に精神科、心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 自施設に精神科、心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 (自施設に精神科・心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 (自施設に精神科・心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。(自施設に精神科・心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。(自施設に精神科・心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。(自施設に精神科・心療内科等があり、自施設で小児がん患者の精神的なケアができる場合には"いいえ"を選択してください。)	A A A A A	はい はい 8 いいえ 別紙12 はい はい はい はい	(はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) 部屋 (はい/いいえ)	210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V	
 広報の手段について、簡潔に記載すること(例: 医療機関のwebサイトに掲載) 自施設で参加可能な治験について、その対象であるがんの種類および薬剤名等を広報している。 広報の手段について、簡潔に記載すること(例: 医療機関のwebサイトに掲載) 佐療機関のwebサイトに掲載 佐療機関のwebサイトに掲載 た療機関のwebサイトに掲載 た療機関のwebサイトに掲載 たの存践に記載すること(例: 医療機関のwebサイトに掲載) たの存機関のwebサイトに掲載 との機関のwebサイトに掲載 との存機関のwebサイトに掲載 との表機関のwebサイトに掲載 との表機関のwebサイトに掲載 との表している。 はい (はい/いいえ) はい (はい/いいえ) ・ 年 月 (西暦XXXX年XX月) 231 	病院内に特別支援学級が設置されている。 退院時の復園および復学支援が行われている。 子どもの発達段階に応した遊戯室等を設置している。 AYA世代(思春期および若年成人)のための場所を確保している。 家族等が利用できる長期滞在施設またはこれに準じる施設が整備されている。 長期滞在施設が自施設内に設置されている。 長期滞在施設またはこれに準じる施設について別紙12に記載すること。 家族等の希望により、24時間面会または患者の付き添いができる体制を構築している。 この体制の質の向上についても積極的に取り組んでいる。 患者のきょうだいに対する保育の体制整備を行っている。 教育課程によらず、切れ目のない教育支援のためにICT(情報通信技術)等を活用した学習活動を含めた学習環境の整備を進めている。 外児がん患者の精神的なケアに関して、対応方法や関係機関との連携について明確にしている。 関係職種に情報共有を行う体制を構築している。 自施設に精神科、心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 自施設に精神科、心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 (自施設に精神科・心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 (自施設に精神科・心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 (自施設に精神科・心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 (自施設に精神科・心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。	A A A A A A	はい はい 8 いいえ 別紙12 はい はい はい はい はい	(はい/いいえ) (はい/いいえ) 部屋 (はい/いいえ) のではい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ)	210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V	
「	病院内に特別支援学級が設置されている。 退院時の復園および復学支援が行われている。 子どもの発達段階に応じた遊戯室等を設置している。 AYA世代(思春期および若年成人)のための場所を確保している。 家族等が利用できる長期滞在施設またはこれに準じる施設が整備されている。 長期滞在施設が自施設内に設置されている。 長期滞在施設が自施設内に設置されている。 長期滞在施設が自施設内に設置されている。 長期滞在施設またはこれに準じる施設について別報12に記載すること。 家族等の希望により、24時間面会または患者の付き添いができる体制を構築している。 この体制の質の向上についても積極的に取り組んでいる。 患者のきょうだいに対する保育の体制整備を行っている。 教育課程によらず、切れ目のない教育支援のためにICT(情報通信技術)等を活用した学習活動を含めた学習環境の整備を進めている。 小児がん患者の精神的なケアに関して、対応方法や関係機関との連携について明確にしている。 関係職種に情報共有を行う体制を構築している。 自施設に精神科、心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 (自施設に精神科、心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 (自施設に精神科・心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 (自施設に精神科・心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 (自施設に精神科・心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 (自施設に精神科・心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 治験を除く危速は、地域の医療機関と連携体制を確保している。 治験を除く危速は、地域が発きを構造している。 治験を除く危寒研究を行うに当たっては、臨床研究法(平成29年法律第16号)に則った体制を整備している。	A A A A A A A	はい はい 8 いいえ 別紙12 はい はい はい はい はい	(はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) 部屋 (はい/いいえ)	210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V	
広報の手段について、簡潔に記載すること(例: 医療機関のwebサイトに掲載) - <mark>医療機関のwebサイトに掲載</mark> 229 臨床研究を支援する専門の部署を設置している。 B はい (はい/いいえ) 230 ✓	病院内に特別支援学級が設置されている。 退院時の復園および復学支援が行われている。 子どもの発達段階に応じた遊戯室等を設置している。 AYA世代(思春期および若年成人)のための場所を確保している。 家族等が利用できる長期滞在施設またはこれに準じる施設が整備されている。 長期滞在施設が自施設内に設置されている。 長期滞在施設が自施設内に設置されている。 長期滞在施設が自施設内に設置されている。 長期滞在施設が自施設内に設置されている。 長期滞在施設またはこれに準じる施設について別報12に記載すること。 家族等の希望により、24時間面会または患者の付き添いができる体制を構築している。 この体制の質の向上についても積極的に取り組んでいる。 患者のきょうだいに対する保育の体制整備を行っている。 教育課程によらず、切れ目のない教育支援のためにICT(情報通信技術)等を活用した学習活動を含めた学習環境の整備を進めている。 小児がん患者の精神的なケアに関して、対応方法や関係機関との連携について明確にしている。 関係職種に情報共有を行う体制を構築している。 自施設に精神科、心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 (自施設に精神科、心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 (自施設に精神科・心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 (自施設に精神科・心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 (自施設に精神科・心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 治験を除く臨境神科・心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 治験を除く臨床研究を行うに当たっては、臨床研究法(平成29年法律第16号)に則った体制を整備している。 進行中の治験を除く臨床研究の概要および過去の治験を除く臨床研究の成果を広報している。	A A A A A A A	はい はい 8 いいえ 別紙12 はい はい はい はい はい はい	(はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) 部屋 (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ)	210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V	
臨床研究を支援する専門の部署を設置している。	病院内に特別支援学級が設置されている。 遠院時の復園および復学支援が行われている。 子どもの発達段階に応じた遊戯室等を設置している。 AYA世代(思春期および若年成人)のための場所を確保している。 家族等が利用できる長期滞在施設またはこれに準じる施設が整備されている。 長期滞在施設が自施設内に設置されている。 長期滞在施設が自施設内に設置されている。 長期滞在施設またはこれに準じる施設について別載12に記載すること。 家族等の希望により、24時間面会または患者の付き添いができる体制を構築している。 この体制の質の向上についても積極的に取り組んでいる。 患者のきょうだいに対する保育の体制整備を行っている。 教育課程によらず、切れ目のない教育支援のためにICT(情報通信技術)等を活用した学習活動を含めた学習環境の整備を進めている。 小児がん患者の精神的なケアに関して、対応方法や関係機関との連携について明確にしている。 関係職種に情報共有を行う体制を構築している。 自施設に精神科、心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 (自施設に精神科、心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。(自施設に精神科・心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 (自施設に精神科・心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 (自施設に精神科・心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 治験を除く随戻精神科・心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 (首施設に精神科・心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 (首施設に精神科・心療内科等があり、自施設で対応がきる場合と連携体制を確保している。 本行中の治験を除く臨床研究の概要および過去の治験を除く臨床研究の成果を広報している。 広報の手段について、簡潔に記載すること(例: 医療機関のwebサイトに掲載)	A A A A A A A A A A	はい はい 8 いいえ 別紙12 はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	(はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) 部屋 (はい/いいえ)	210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V	
設置していない場合は設置の予定時期 - 年月 (西暦XXXX年XX月) 231	病院内に特別支援学級が設置されている。 遠院時の復園および復学支援が行われている。 子どもの発達段階に応じた遊戯室等を設置している。 AYA世代(思春期および若年成人)のための場所を確保している。 家族等が利用できる長期滞在施設またはこれに準じる施設が整備されている。 長期滞在施設が自施設内に設置されている。 長期滞在施設が自施設内に設置されている。 長期滞在施設またはこれに準じる施設について別紙12に記載すること。 家族等の希望により、24時間面会または患者の付き添いができる体制を構築している。 この体制の質の向上についても積極的に取り組んでいる。 患者のきょうだいに対する保育の体制整備を行っている。 教育課程によらず、切れ目のない教育支援のためにICT(情報通信技術)等を活用した学習活動を含めた学習環境の整備を進めている。 小児がん患者の精神的なケアに関して、対応方法や関係機関との連携について明確にしている。 関係職種に情報共有を行う体制を構築している。 自施設に精神科、心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 (自施設に精神科、心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。(自施設に精神科、心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 自施設に精神科、心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 (治験と精神科・心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 施設に精神科・心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 「治験と除く臨床研究を行うに当たっては、臨床研究法(平成29年法律第16号)に則った体制を整備している。 本符中の治験を除く臨床研究の概要および過去の治験を除く臨床研究の成果を広報している。 広報の手段について、簡潔に記載すること(例: 医療機関のwebサイトに掲載) 自施設で参加可能な治験について、後アのの成果を広報している。	A A A A A A A A A A A	はい はい 8 いいえ 別紙12 はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	(はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) 部屋 (はい/いいえ)	210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V	
	病院内に特別支援学級が設置されている。 退院時の復園および復学支援が行われている。 子どもの発達段階に応じた遊戯室等を設置している。 AYA世代(思春期および若年成人)のための場所を確保している。 家族等が利用できる長期滞在施設またはこれに準じる施設が整備されている。 長期滞在施設が自施設内に設置されている。 長期滞在施設が自施設内に設置されている。 長期滞在施設またはこれに準じる施設について別載12に記載すること。 家族等の希望により、24時間面会または患者の付き添いができる体制を構築している。 この体制の質の向上についても積極的に取り組んでいる。 患者のきょうだいに対する保育の体制と徹合そつている。 教育課程によらず、切れ目のない教育支援のためにCT(情報通信技術)等を活用した学習活動を含めた学習環境の整備を進めている。 小児がん患者の精神的なケアに関して、対応方法や関係機関との連携について明確にしている。 関係職種に情報共有を行う体制を構築している。 自施設に精神科、心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 (自施設に精神科、心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。(自施設に精神科・心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 自施設に精神科・心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 (自施設に精神科・心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 流験内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 広教の集積に対して、対域の医療機関と連携体制を確保している。 本研究等に関すること 拠点病院や小児が心連携病院とも連携し、オールジャバン体制で臨床研究を推進している。 本行中の治験を除く臨床研究の概要および過去の治験を除く臨床研究の成果を拡報している。 広報の手段について、簡潔に記載すること(例: 医療機関のwebサイトに掲載)	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	はい はい まいえ 別紙12 はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	(はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) 部屋 (はい/いいえ)	210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V	
	病院内に特別支援学級が設置されている。 退院時の復園および復学支援が行われている。 子どもの発達段階に応じた遊戯室等を設置している。 AYA世代(思春期および若年成人)のための場所を確保している。 家族等が利用できる長期滞在施設またはこれに準じる施設が整備されている。 長期滞在施設が自施設内に設置されている。 長期滞在施設が自施設内に設置されている。 長期滞在施設またはこれに準じる施設について別載12に記載すること。 家族等の希望により、24時間面会または患者の付き添いができる体制を構築している。 この体制の質の向上についても積極的に取り組んでいる。 患者のきょうだいに対する保育の体制整備を行っている。 教育課程によらず、切れ目のない教育支援のためにICTで情報通信技術)等を活用した学習活動を含めた学習環境の整備を進めている。 小児がん患者の精神的なケアに関して、対応方法や関係機関との連携について明確にしている。 関係職種に情報共有を行う体制を構築している。 自施設に精神科、心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 自施設に精神科、心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 自施設に精神科・心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 自施設に精神科・心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 自施設に精神科・心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 立施定に精神科・心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 は流行中の治験を除く施床研究を行うに当たっては、施床研究法(平成29年法律第16号)に則った体制を整備している。 進行中の治験を除く施床研究の概要および過去の治験を除く施床研究の成果を広報している。 広報の手段について、簡潔に記載すること(例: 医療機関のwebサイトに掲載) 自施設で参加可能な治験について、その対象であるがんの種類および薬剤名等を広報している。 広報の手段について、簡潔に記載すること(例: 医療機関のwebサイトに掲載) 臨床研究を支援する専門の部署を設置している。	A A A A A A A B B B B B B B B B B B B B	はい はい はい 8 いいえ 別紙12 はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	(はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) 部屋 (はい/いいえ)	210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V	
臨床研究⊐ーディネーターを配置している場合、その人数 - 24 人 233 ✔	病院内に特別支援学級が設置されている。 退院時の復園および復学支援が行われている。 不どもの発達段階に応じた遊戯室等を設置している。 不不世代(思春期および若年成人)のための場所を確保している。 家族等が利用できる長期滞在施設またはこれに準じる施設が整備されている。 ・ 家族等が利用できる長期滞在施設またはこれに準じる施設が整備されている。 ・ 長期滞在施設が自施設内に設置されている。 長期滞在施設が自施設内に設置されている。 長期滞在施設またはこれに準じる施設について別無12に配載すること。 家族等の希望により、24時間面会または患者の付き添いができる体制を構築している。 この体制の質の向上についても積極的に取り組んでいる。 患者のきょうだいに対する保育の体制整備を行っている。 教育課程によらず、切れ目のない教育支援のためにICT(情報通信技術)等を活用した学習活動を含めた学習環境の整備を進めている。 小児がん患者の精神的なケアに関して、対応方法や関係機関との連携について明確にしている。 関係職種に情報共有を行う体制を構築している。 自施設に精神科、心療内科等があり、自施設で対応できる体制を整備している。 自施設に精神科、心療内科等がない場合は、地域の医療機関と連携体制を確保している。 (自施設に精神科・心療内科等がない場合は、地域の医療機関と連携体制を確保している。) (自施設に精神科・心療内科等がない場合は、地域の医療機関と連携体制を確保している。 (自施設に精神科・心療内科等がない場合は、地域の医療機関と連携体制を確保している。 道行中の治験を除く臨床研究を行うに当たっては、臨床研究法(平成29年法律第16号)に則った体制を整備している。 本研究等に関すること 「成報の手段について、簡潔に記載すること(例: 医療機関のwebサイトに掲載) 臨床研究を支援する専門の部署を設置している。 設置していない場合は設置の予定時期 臨床研究を支援する専門の部署を設置している。 設置していない場合は設置の予定時期 臨床研究・フーディネーター(CRC)を配置している。 設置していない場合は設置の予定時期 臨床研究・フーディネーター(CRC)を配置している。 設置していない場合は設置の予定時期 を対する対象を対象に対している。 設置していない場合は設置の予定時期 を対する対象を対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対	A A A A A A A B B B B B B B B	はい はい 8 いいえ 別紙12 はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	(はい/いいえ) (はい/いいえ) (はい/いいえ) 部屋 (はい/いいえ)	210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232	V V V V V V V V V V V V V V V V V V V	

(6)	- 小児がん中央機関等と連携して、治験に関して患者に対する情報提供に努め、国内の連携体制を構築している。	Α	はい	(はい/いいえ)	234	V	0
臨床	研究の問い合わせ窓口について <mark>別紙13</mark> に記載すること。		別紙13		235		
塩床	研究の実施総件数(令和3年1月1日~12月31日)	-	38	件	236	~	7
床	試験以外の臨床研究実施総件数(令和3年1月1日~12月31日)	-	0	件	237	7	1
分験	の実施総件数(令和3年1月1日~12月31日)	-	7	件	238	~	1
医	寮の賞の継続的な評価改善の取組及び安全管理				239		-
1)	自施設及び小児がん連携病院の診療機能や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、がん患者の療養生活の質について把握・評価し、課題認識を関係者で共有した上で、適切な改善策を講じている。	Α	はい	(はい/いいえ)	240	v	0
	把握・評価の方法、改善策等について <mark>別紙14</mark> に記載すること。		別紙14		241		
2)	これらの実施状況につき、地域ブロック協議会において、情報共有と相互評価を行うとともに、地域に対してわかりやすく広報を行っている。	Α	はい	(はい/いいえ)	242	~	0
	地域への広報の手段について簡潔に記載すること(例:医療機関のwebサイトに掲載)	-	医療機関のw	ebサイトに掲載	243		
()	小児がん医療について、外部機関による技術能力についての施設認定(以下「第三者認定」という。)を受けた医療施設である。	Α	はい	(はい/いいえ)	244	~	0
	一般社団法人日本小児血液・がん学会が認定する「日本小児血液・がん専門医研修施設」である。	-	はい	(はい/いいえ)	245	7	1
	一般社団法人日本小児外科学会が認定する「認定施設」である。	-	はい	(はい/いいえ)	246	7	1
.)	小児がんに係る骨髄・さい帯血等の移植医療について、第三者認定を受けた医療施設である。	Α	はい	(はい/いいえ)	247	~	0
	以下、小児がん診療を行う診療科の認定についてご回答ください。			=	248		
	一般社団法人日本造血・免疫細胞療法学会の非血縁者間造血幹細胞移植を施行する診療科の認定基準『カテゴリー1』である。	-	はい	(はい/いいえ)	249	~	1
	一般社団法人日本造血・免疫細胞療法学会の非血縁者間造血幹細胞移植を施行する診療科の認定基準『カテゴリー2』である。	-	いいえ	(はい/いいえ)	250	~	1
	一般社団法人日本造血・免疫細胞療法学会の非血縁者間造血幹細胞移植を施行する診療科の認定基準『カテゴリー3』である。	-	はい	(はい/いいえ)	251	~	1
5)	医療法(昭和23年法律第205号)に基づく医療安全にかかる適切な体制を確保している。	Α	はい	(はい/いいえ)	252	~	0
	日本医療機能評価機構の審査等の第三者による評価を受けている。	Α	はい	(はい/いいえ)	253	~	0
)他	9. 医療安全体制			-	254		
)	組織上明確に位置づけられた医療に係る安全管理を行う部門(以下「医療安全管理部門」という。)を設置し、病院一体として医療安全対策を 講じている。また、当該部門の長として常動の医師を配置している。	-	はい	(はい/いいえ)	255	~	
)	医療に係る安全管理を行う者(以下「医療安全管理者」という。)として(1)に規定する医師に加え、専任で常勤の薬剤師及び専従で常勤の看護師を配置している。	-	はい	(はい/いいえ)	256	~	
()	医療安全管理者は、医療安全対策に係る研修を受講している。	-	はい	(はい/いいえ)	257	~	1
1)	当該施設で未承認新規医薬品の使用や承認薬の適応外使用や高難度新規医療技術を用いた医療の提供を実施している。	-	はい	(はい/いいえ)	258	~	1
	当該施設で未承認新規医薬品の使用や承認薬の適応外使用や高難度新規医療技術を用いた医療の提供を実施する場合は、以下の体制を整備している。※上段で「いいえ」の場合、以下の3つの項目は、「-」を選択してください。				259	·	
	当該医療の適応の安全性や妥当性、倫理性について検討するための組織(倫理審査委員会、薬事委員会等。なお当該組織は既設の組織であっても構わない。)において、病院として事前に検討を行っている。	-	はい	(はい/いいえ/-)	260	~	1
	② 事前検討を行い、承認された医療を提供する際には、患者・家族に対し適切な説明を行い、書面での同意を得た上で提供している。	-	はい	(はい/いいえ/-)	261	~]
	③ 提供した医療について、事後評価を行っている。	-	はい	(はい/いいえ/-)	262	~	
5)	医療安全のための患者窓口を設置し、患者からの苦情や相談に応じられる体制を確保している。	-	はい	(はい/いいえ)	263	~	1
	医療安全体制について <mark>別紙15</mark> に記載すること。		別紙15		264		_
F 5	足の要件			•	265		
-							

各種小児がんの情報

記載の有無 ※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。 あり

病院名:

九州大学病院

小児脳腫瘍

その他の小児固形腫瘍

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数

○ (○:専門とするがん/×:診療を実施していないがん)

放射線療法

小児がんについての対応状況を記載してください。

※ 各医療機関において「専門とするがん」とは、集学的治療および緩和ケアを提供する体制が整備されているとともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療等のがん患者の状態に応じた 適切な治療を提供する体制が整備されているがんのことをそします。
※ 診療を実践していないがんについて、表の影飲は不要です。
※ 内視鏡下手術用ロボットを用いた手術に関しては、その他の治療法の欄に記載すること。

	児脳腫瘍			_	(O ±	001-2-7	121	*\#±#								病院名:	会和4年0日1日田	九州大学病院 在(実績は令和3年1	810-	.10 日 1	11 🗆)
J	当該疾患の診療を	担当し	ている	0	(O:専	門とするが	かん/×:	診療を実	き他してし	ないかん	u)					時期•期间:		住(夫様は守和3年1			
	診療科名と	医師数	当該疾				放射線	泉療法			※下記のそ	療法があれ の他の治療	いば記載 を法欄と			各診療科における当該疾患の治				れてい	
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師 数	患を専 門として いる医 師数	手術	化学 療法	体外照射	定位 放射線	IMRT	小線源治療	陽子線 治療	合わせてくた 他の 治療(1)	他の	他の 治療(3)			療の特色・患者さんへのメッセージ など	※ アトレスは、手入力 コピーしてください	せずにホームペーンから	治療内容	治療実績	医師の専門
1	小児科	6	6	0	0	0	療法	0	0	×	THE MAKE 17	78 78 (-)	7111 2011 - 2			脳外科、放射線科など複数科と連携し た診療ができます	見出し 九州大学医学部小児 科	アドレス https://pediatr.kyushu- u.ac.ip/	掲載なし	掲載なし	分野掲載なし
2	脳神経外科	15	6	0	0	×	0	0	×	×						遺伝子解析を含めた診断と、最新機器 を備えた手術環境で治療を行います。	九州大学大学院医学 研究院脳神経外科 診療案内	https://www.ns.med.kyush u-u.ac.jp/	掲載あり	掲載あり	掲載あり
3	放射線科	31	15	×	×	0	0	0	×	×						神経画像診断や放射線治療の専門医 が診断、治療にあたります。	放射線治療について	http://www.radiol.med.k yushu- u.ac.jp/medicalcare/rad	掲載あり	掲載なし	掲載なし
4																		iation			
5																					
	そ ※上記の実施状況・	の他の 実績欄と	治療法合わせて	記載してく	ださい			治症	使名							治療「	内容				
		他の治 他の治																			
		他の治		h																	
	※(令和3:	年1月1	ある疾患 日~12月	名 (31日)		神経膠腫	、頭蓋咽	頭腫、髄素	萨腫、胚細	胞腫、中植	区性胎児性	腫瘍、髄	膜腫								
η\ <u>!</u>	児の眼・眼窩	運場		0	(〇:専	門とするが	がん/×:	診療を実	産施してい	ないがん	u)										
	当該疾患の診療を 診療科名と																当該疾患の治療	療に関する内容が掲載	されてい	るペー	ヴ
	主な診療科名	表刊士元) 8kg IICして		手術	冷凍	光凝固	化学	眼動注	ħ	女射線療法	ţ	陽子線	その他の治 ※下記の行 合わせてく	台療法がある その他の治 ださい	れば記載 療法欄と	各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	※アドレスは、手入力・ コピーしてください	せずにホームページから	掲載さ	れてい	
	(5砂漿科まで)	gX	いる医 師数		凝固術	術	療法		体外 照射	IMRT	小線源 治療	治療	他の 治療(1)	他の 治療(2)	他の 治療(3)		見出し	アドレス	治療 内容	治療実績	医師の 専門 分野
1	小児科	6	6	×	×	×	0	×	×	×	×	×				眼科など複数科および国立がんセン ターと連携した診療ができます	九州大学医学部小児科	https://pediatr.kyushu- u.ac.jp/	掲載なし	掲載なし	掲載なし
2	眼科	4	4	0	0	0	0	×	0	0	×	×					専門外来 - 眼腫瘍・眼 形成・涙道疾患	http://www.eye.med.kyush u- u.ac.jp/patient/specialtycli nic/index.html#tab6	掲載あり	掲載あり	掲載あり
3	放射線科	31	15	×	×	×	×	×	0	0	×	×				神経画像診断や放射線治療の専門医 が診断、治療にあたります。	放射線治療について	http://www.radiol.med.kyus hu- u.ac.jp/medicalcare/radiati on	掲載あり	掲載なし	掲載なし
4																					
5																					
	※上記の実施状況・	実績欄と		記載してく	ださい			治症	使名							治療[内容				
		/探(1)																			
		他の治 他の治	他の治療(2)																		
		他の治 他の治	療(3)	D.																	
	治療3 ※(令和3	他の治 他の治 実績のる 年1月1	療(3) ある疾患 日~12月	名 [31日)		網膜芽細	B胞腫、横線	紋筋肉腫													
	治療領	他の治 他の治 実績のる 年1月1	療(3) ある疾患 日~12月	名 (31日)	(〇:専	網膜芽細門とするが			『施してし	ないがん	v)										
ሳ ት!	治療3 ※(令和3	他の治 他の治 実績のる 年1月1 3.腫瘍	療(3) ある疾患 日~12月	31日)	(〇:専				『施してい	ないがん	u)						当該疾患の治療	寮に関する内容が掲載	されてい	いるペー	·ジ
小!	治療等 ※(令和34 児悪性骨軟部 当該疾患の診療を 診療料名と 生な診療科名	他の治 実績のを 実有1月1 3.腫瘍 と担師数	療(3) ある疾患日~12月 ている 当歳疾専すて	O			がん/×:	診療を実化学	放射網	泉療法	陽子線	重粒子	※下記の合わせてく		療法欄と	各診療科における当該疾患の治 振の特色・患者さんへのメッセージ など			掲載さ	れてい	る内容
小!	治療 ※(令和3: 児 悪性骨軟 部 当該疾患の診療を 診療料名と	他の治 実績ので 年1月1 医腫瘍 を担当し 医師数	療(3) ある疾患日~12月 ている は 当歳疾専	(31日) (O) (切·離断)	(○:専 患肢 温存術			診療を実			陽子線	重粒子線治療	※下記の	その他の治ださい 他の		療の特色・患者さんへのメッセージ	※アドレスは、手入力・ コピーしてください	せずにホームページから			
小!	治療3 ※(令和34 児 悪性骨軟部 当該疾患の診療名と 主な診療科名(56歳科まで)	他の治 実績のを 実有1月1 3.腫瘍 と担師数	療(3) ある疾患日~12月 でいる は 当該を実専ているとしている	(31日) (O) (切·離断)	患肢	門とするが	がん/×: 骨移植	診療を実化学	放射網	泉療法 小線源	陽子線	重粒子線治療	※下記の合わせてく	その他の治ださい 他の	療法欄と 他の	療の特色・患者さんへのメッセージ	※アドレスは、手入力・		掲載さ	れてい	る内容 医師の 専門
1 2	治療3 ※(令和3* 児 悪性骨軟部 当該疾患の診療を 診療料名と 主な診療料名 (5診療料まで)	他の治 を 検 の お と と と と を 教 と と と 教	療(3) ある疾患日~12月 でいる 当患とし医 師教	○○切・離断 術	患肢 温存術	門とするが	がん/×: 骨移植 衛	診療を実化学療法	放射# 体外 照射	泉療法 小線源 治療	陽子線治療	重粒子線治療	※下記の合わせてく	その他の治ださい 他の	療法欄と 他の	療の特色・患者さんへのメッセージなど 小児外科、整形外科など複数科と連携 した診療ができます した診療ができます。	※アドレスは、手入力・コピーしてください 見出し	せずにホームページから アドレス https://pediatr.kyushu-	掲載さ 治療 内容	治療実績	る内容 医師の 専門 分野
1 1 2	治療3 ※(令和3: 児 悪性骨軟部 当該疾患の診療名と 主な診療科名(5診療科まで) 小児科 小児科科・成肾 が科・小腸移植	他の治治を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	療(3) ある疾患日~12月 でいる 当歳を専って いる の数	(31日) (131日) (患肢 温存術 ×	門とするが	がん/×: 骨移植 術	診療を実 化学法	放射和 体外 照射	泉療法 小線源 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	陽子線 治療	重粒子 線治療 ×	※下記の 合わせてく 他の 治療(1)	その他の治ださい 他の	療法欄と 他の	療の特色・患者さんへのメッセージ など 小児外科、整形外科など複数科と連携 した診療ができます 小児科・整形外科など複数科と連携	※アドレスは、手入力コピーしてください 見出し 九州大学医学部小児科	せずにホームページから アドレス https://pediatr.kyushu- u.ac.jp/ http://pedsurg.kyushu-	掲載さ	おれている 治療積 掲載なし 掲載なし	る内容 医師のの専門野 掲載なし
1 2 3	治療3 ※(令和3 ² 児 悪性骨軟音 当該疾患の診療と 診療科名と (5診療料まで) 小児科 小児科 小児科・小腸移植 外科・小腸移植	他の治治 経験 上担医 医数 6 3	療(3) ある疾患日~12月 は 当該を疾専門として いる の数 6	○ 切・離断 × ×	患肢 温存術 ×	門とするが 再建術 ×	がん/×: 骨移植 術 ×	診療を実 化療法	放射和 体外 照射 ×	泉療法 小線源 ×	陽子線治療	重粒子線治療 × ×	※下記の 合わせてく 他の 治療(1)	その他の治ださい 他の	療法欄と 他の	療の特色・患者さんへのメッセージなど 小児外科、整形外科など複数科と連携 した診療ができます 小児科・整形外科など複数科と連携 した診療ができます 小児に発生した診療ができます。 小児に発生した診療ができます。 小児に発生した診療ができます。 小児に発生して連絡を取り、テーム原療を通 にて、手術、化学療法、放射能力を取り、手の上原療を通	※アドレスは、手入力コピーしてください 見出し 九州大学医学部小児科	世ずにホームページから アドレス https://pedatrkyushu- uac.jp/ http://pedsurg.kyushu- u.ac.jp	掲載な 治療容 掲載なし 掲載なし	おれている 治療積 掲載なし 掲載なし	る内容 医師門野 掲載なし 掲載なし
小! 1 2 3 4	治療3 ※(令和3: 児悪性骨軟部 当該疾患の診療名と 主な診療科名(5診療科まで) 小児科 小児科 小児科 ・小児科 ・小児科 ・小児科 ・小児科 ・が開発値 ・ 整整形外科	他の治治を を を を を を を を を を を を を を	療(3) 療(3) ある疾,担2月 ている 【 当患をして い節が 6 12	○ 切・離断 × ×	患肢温存術 × ×	再建術 × ×	がん/×: 骨移植 × ×	診療を実 化学療法	放射和 体外照射 ×	泉療法 小線源 治療 × ×	陽子線 治療 × ×	重粒子療 総治療 ×	※下記の 合わせてく 他の 治療(1)	その他の治ださい 他の	療法欄と 他の	療の特色・患者さんへのメッセージなど 小児外科、整形外科など複数科と連携 した診療ができます 小児科・製形外科など複数科と連携 した診療ができます 小児科・型形外科など複数科と連携 した診療ができます 小児に発生した影像ができます 小児に乗りたできない。 一児科や智に連絡を強り、子ーム医療を通 み合わせた集学的治療を行なっています。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	※アドレスは、手入力コピーしてください 見出し 九州大学医学部小児科 九州大学小児外科 骨軟部腫瘍グループ	サザにホームページから アドレス https://pedairkyushu- uac.jp/ http://pedsurg.kyushu- u.ac.jp https://www.ortho.medkyu shu-uac.jp/2017/01/20/ http://www.radolmedkyu hu-	掲載な 治療容 掲載なし 掲載なし	治療績 掲載なし 掲載なし	る内容 医師門野 掲載なし 掲載なし
1 2 3 4 5 5	※(令和3: ※(令和3: ※(令和3: ・	他の治治を経済のおります。 医変数 「日本の本語ののは、日本の本語ののは、日本の本語ののは、日本の本語ののは、日本の本語のは、日本の主義の	療(3) ある疾患と 12 16 16 17 16 16 17 16 17 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18	O	患肢 温存術 × ×	再建術 × × ○	骨移植 本本 X O X X T T T T T T T T	診療を実 化学療法	放射和 体外照射 ×	泉療法 小線源 治療 × ×	陽子線 治療 × ×	重粒子家	※下記の今合わせてく 他の 治療(1)	その他の治ださい 他の治療(2)	僚法欄と 他の 治療(3)	療の特色・患者さんへのメッセージなど 小児外科、整形外科など複数科と連携した診療ができます 小児科・整形外科など複数科と連携した診療ができます 小児科・整形外科など複数科と連携した診療ができます 小児に発生した影響ががきます 小児になり、デールが原を組 ので、手術・化学療法・放射線が高に、小児科と呼ば、海の音で に、手術・化学療法・放射線が原を行なっています。 骨数部画像診断・放射線が像の専門 医が診断、治像にあたります。	※アドレスは、手入力コピーしてください 見出し 九州大学医学部小児科 九州大学小児外科 骨軟部腫瘍グルーブ 放射線治療について	サザにホームページから アドレス https://pedairkyushu- uac.jp/ http://pedsurg.kyushu- u.ac.jp https://www.ortho.medkyu shu-uac.jp/2017/01/20/ http://www.radolmedkyu hu-	掲載な 治療容 掲載なし 掲載なし	治療績 掲載なし 掲載なし	る内容 医師門野 掲載なし 掲載なし
1 2 3 4 5 5	治療3 ※(令和3: ※(令和3: 児 悪性骨軟音 当該疾患の診療を 診療科名と (5診療料まで) 小児科 小児科・小腸移植 外科・小腸移植 放射線科 ※上記の実施状況・	他の治治を を を を を を を を を を を を を を	療(3) 療(3) ある疾患 から ある疾患 から	O	患肢 温存術 × ×	再建術 × ×	骨移植 本本 X O X X T T T T T T T T	診療を実 化学療法 〇	放射和 体外照射 ×	泉療法 小線源 治療 × ×	陽子線 治療 × ×	重粒子家	※下記の今合わせてく 他の 治療(1)	その他の治ださい 他の治療(2)	僚法欄と 他の 治療(3)	療の特色・患者さんへのメッセージなど 小児外科、整形外科など複数科と連携 した診療ができます 小児科・整形外科など複数科と連携 した診療ができます 小児に発生した診療ができます 小児に発生して連絡を耐し、一 児科と思い連絡を取り、手や山糸療を組 み合わせた集字的治療を行なっています。 骨数部画像診断・砂放料線治療の専門 医が診断、治療にあたります。	※アドレスは、手入力コピーしてください 見出し 九州大学医学部小児科 九州大学小児外科 骨軟部腫瘍グルーブ 放射線治療について	サザにホームページから アドレス https://pedairkyushu- uac.jp/ http://pedsurg.kyushu- u.ac.jp https://www.ortho.medkyu shu-uac.jp/2017/01/20/ http://www.radolmedkyu hu-	掲載な 治療容 掲載なし 掲載なし	治療績 掲載なし 掲載なし	る内容 医師門野 掲載なし 掲載なし
1 2 3 4 5 5	治療3 ※(令和3: ※(令和3: 児 悪性骨軟音 当該疾患の診療を診療科名と (5診療科まで) 小児科 小児外科・小陽移植 外科・小陽移植 放射線科 放射線科	他の治治を経済のおります。 医変数 「日本の本語ののは、日本の本語ののは、日本の本語ののは、日本の本語ののは、日本の本語のは、日本の主義の	療(3) 療(3) ある疾患を 1 2	O	患肢 温存術 × ×	再建術 × × ○	骨移植 本本 X O X X T T T T T T T T	診療を実 化学療法 〇	放射和 体外照射 ×	泉療法 小線源 治療 × ×	陽子線 治療 × ×	重粒子家	※下記の今合わせてく 他の 治療(1)	その他の治ださい 他の治療(2)	僚法欄と 他の 治療(3)	療の特色・患者さんへのメッセージなど 小児外科、整形外科など複数科と連携した診療ができます 小児科・整形外科など複数科と連携した診療ができます 小児科・整形外科など複数科と連携した診療ができます 小児に発生した影響ががきます 小児になり、デールが原を組 ので、手術・化学療法・放射線が高に、小児科と呼ば、海の音で に、手術・化学療法・放射線が原を行なっています。 骨数部画像診断・放射線が像の専門 医が診断、治像にあたります。	※アドレスは、手入力コピーしてください 見出し 九州大学医学部小児科 九州大学小児外科 骨軟部腫瘍グルーブ 放射線治療について	サザにホームページから アドレス https://pedairkyushu- uac.jp/ http://pedsurg.kyushu- u.ac.jp https://www.ortho.medkyu shu-uac.jp/2017/01/20/ http://www.radolmedkyu hu-	掲載な 治療容 掲載なし 掲載なし	治療績 掲載なし 掲載なし	る内容 医師門野 掲載なし 掲載なし

掲載されている内容

当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ

各診療科における当該疾患の治 療の特色・患者さんへのメッセージ がアドレスは、手入力せずにホームページから カビ

	(5診療科まで)	数	いる医師数	נאיד	療法	体外照射	小線源治療	治療	他の 治療(1)	他の 治療(2)	他の 治療(3)	見出しアドレス	治療内容	治療実績	医師 専門 分野			
1	小児科	6	6	×	0	×	×	×				小国 所 利 - 教 取 が 利 サン じ 植 歌 不 礼 し 古 植	掲載なし	掲載なし	掲載な			
2	小児外科・成育 外科・小腸移植 外科	13	4	0	×	×	×	×				小児科、他診療科と協力して日本で最 高水準の小児固形悪性連瘍の集学的 治療を行います。 ・ カ州大学病院 がんセン ター https://www.gan.med.kyus hu-u.ac.jp/	掲載あり	掲載あり	掲載あ			
3	耳鼻咽喉·頭頸 部外科	5	2	0	×	×	×	×				小児科の方針に沿って、頭頸部外科の 専門的技術を提供できます。 成期類部外科 、機頭頸部外科 ・ ktps://www.qent.med.kyu ・ khu-u.ac.jp/	掲載なし	掲載なし	掲載な			
4	放射線科	31	25	×	×	0	0	×				全身の画像診断や放射線治像の専門 医が診断、治療にあたります。 放射線治療について u.a.c.jp/medicalcare/radiation	掲載あり	掲載なし	掲載な			
5																		
	そ ※上記の実施状況・)治療法 と合わせで		ださい			治療	泰名			治療内容						
		他の治	療(1)															
他の治療(2)																		
他の治療(3)																		
	治療実績のある疾患名 ※(令和3年1月1日~12月31日) 神経芽細胞腫、Wilms腫瘍、肝芽腫、ラブドイド腫瘍							ms腫瘍、l	肝芽腫、ラ	ラブドイド胆	重瘍							

小児血液腫瘍

○ (○:専門とするがん/×:診療を実施していないがん)

				U	(U:#	1 1 - 3 - 0	13.70, 11.	かがてつ	CIEC CO		0,								
	当該疾患の診療を 診療科名と														当該疾患の治療	療に関する内容が掲載	されてし	るペー	ジ
			当該疾			移植		放射網	泉療法	その他の治 ※下記のそ 合わせてく	その他の治	れば記載 療法欄と		各診療科における当該疾患の治			掲載さ	れてい	る内容
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師 数	患を専 門として いる医 師数	化学 療法	自家末梢血幹細胞移植	血糧者種類	非血縁者骨 間同種植帯 たは臍植 血移植	体外照射	全身照射	他の 治療(1)	他の 治療(2)	他の 治療(3)		療の特色・患者さんへのメッセージなど	コピーしてください 治療内容		治療内容	治療実績	医師の 専門 分野
															見出し	アドレス			
1	小児科	6	6	0	0	0	0	×	×					小児外科、放射線科など複数科と連携 した診療ができます	九州大学医学部小児科	https://pediatr.kyushu- u.ac.jp/	掲載なし	掲載なし	掲載なし
2	放射線科	31	25	×	×	×	×	0	0					全身の画像診断や放射線治療の専門 医が診断、治療にあたります。	放射線治療について	http://www.radiol.med.kyus hu- u.ac.jp/medicalcare/radiati on	掲載あり	掲載なし	掲載なし
3																			
4																			
5																			
		の治療法 治療名 治療名												治療内容					
他の治療(1)																			
他の治療(2)																			
他の治療(3)																			
*	治療実績のある ((令和3年1月1日・			急性リンパ	《性白血病、	急性骨髓	性白血病、	骨髓異形成	症候群、ホ	ジキンリンパ	ペ腫、非ホ:	ジキンリンバ	『腫、ランゲルハンス細胞組織球』	it it	•		•	•	•

8/24

別紙1(各種小児がんの情報)

ок

生殖機能の温存の支援を行う体制

記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありませ
※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありませ

時期・期間: 令和4年9月1日現在(実績は令和3年1月1日~12月31日)

病院名: 九州大学病院

■令和3年1月1日~12月31日の期間に生殖機能の温存の支援を行った患者数について記載すること。

	自施設で妊孕性温存を 実施した患者数	他施設へ紹介して妊孕性温存を 実施した患者数
がんの治療に際する妊孕性温存目的で精子保存を行った患者の数	1	1
がんの治療に際する妊孕性温存目的で未受精卵子、受精卵(胚)、あるいは、卵巣組織の凍結保存を行った患者の数	9	0
がんの治療に際する妊孕性温存目的で精巣内精子採取術(Onco-TESE)を行った患者の人数	0	1

■がん患者の妊孕性温存に関する連携協力体制について記載すること。

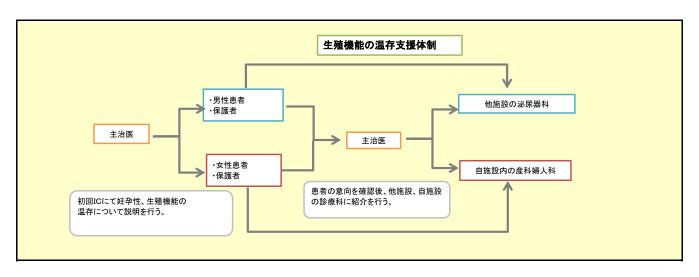
①相談に対応している部署(例:がん相談支援センター、化学療法室等) ②紹介先施設名

がん相談支援センター (複数回答可) 福岡山王病院、原三信病院 (複数回答可)

■生殖機能の温存の支援を行う体制について記載すること。(他施設との連携がある場合は、その連携についても記載すること)

このシートに貼付することが難しい場合、ファイル名の頭に別紙2を付けた電子ファイル、別添資料を提出すること。

(あり/なし) 別添資料の提出有無 なし ファイル形式 (ワード/エクセル/パワーポイント/その他) その他の場合ファイル形式を記載してください。



緩和ケアチームの組織・体制

記載の有無

あり ※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません

病院名: 九州大学病院

時期・期間: 令和4年9月1日現在

緩和ケアチームの総人数: 14

緩和ケアチームの名称、メンバー等を記載すること。個人情報を記載しないよう注意すること。なお、身体症状の緩和に携わる専門的な知識および技能を有する医師(常勤であることが望ましい)、精神症状の緩和に携わる専門的な知識および技能を有する医師(常勤であることが望ましい)、緩和ケアに携わる専門的な知識および技能を有する常勤の看護師は指定要件に含まれることに留意して記載すること。

	緩和ケアチームの名称	小児緩和ケアチーム	小児緩和ケアチーム								
	職種	常勤/非常勤	専門分野	資格等							
例	医師、看護師、薬剤師		麻酔科、精神科、がん看護	緩和ケアに関するものを3つまで記載してください。							
1	医師	常勤	小児科	日本緩和医療学会認定医							
2	医師	常勤	小児外科								
3	医師	非常勤	小児科								
4	歯科医師	常勤	小児歯科								
5	医師	常勤	精神科神経科								
6	医師	常勤	精神科神経科								
7	医師	常勤	精神科神経科								
8	医師	常勤	心療内科								
9	看護師	常勤									
10	薬剤師	常勤									

緩和ケア外来の状況

記載の有無 ※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

あり

病院名: 九州大学病院 時期·期間: 令和4年9月1日現在

1	ı	緩和ケア外来が設定されている(はい/いいえ	5)								はい	
2	2	緩和ケア外来の名称		痛みの緩和ケ	ア外来/こころの緩和ケ	ア外来							
3	3	担当診療科名		麻酔科蘇生科	4/心療内科								
4	1	主な診療内容・特色		主に当院外来 の緩和を目指	を通院中のがん患者さん。 にします。	とご家族を対	象とし活動し	しており、主え	台医やメディ	カルスタッフ。	との連携をとり、協力しな	がら症状	
-	りには、												
	5 緩和ケア外来の説明が掲載されているペーシーアドレス https://www.gan.med.kyushu-u.ac.jp/center/department/caringteam												
6	6	他施設でがんの診療を受けている	、または、診	療を受けてし	いた患者さんを受け入 れ	ıている (la	はい/いいえ	.)				はい	
		■地域の患者さんやご家族向けの	の問い合わせ	と窓口が設定	されている (はい/い	ハえ)						はい	
7	,	窓口の名称		がん相談支援	曼センター								
		電話	代表	09	92-641-1151	(内線)	5200			直通	092-642-520	0	
	■地域の医療機関向けの問い合わせ窓口が設定されている(はい/いいえ) はし										はい		
8	3	窓口の名称		医療連携セン	ター								
		電話	代表	09	92-641-1151	(内線)	5165			直通	092-642-516	55	

11/24 別紙4(緩和外来)

緩和ケア病棟の状況

記載の有無※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください、「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。 病院名: 九州大学病院 時期・期間: 令和4年9月1日現在

※経和ケア症棟が設定されている場合に限り「2」以降を記載してください。

	※緩和ケア病棟が設定されている場合	に限り、「2」以降を記載してくだる	とい。	_							
1	緩和ケア病棟を有している		病棟がありません								
2	緩和ケア病棟入院料の届出・受理										
3	小児の入院可否										
4	緩和ケア病棟の形式										
5	緩和ケア病棟の病床数			床							
	緩和ケア病棟の説明が掲載されている	ページの目出しとアドレス	見出し	見出し							
6	※アドレスは、手入力せずにホームページが	らコピーしてください。	アドレス								
7	他施設でがんの診療を受けている、または、 け入れている(はい/いいえ)	診療を受けていた患者さんを受									
8	入院予約後の入院までの待機期間 ※転棟	、緊急入院を除く									
		(例) 医師		2		(例) 精神保健	福祉士			1	
	緩和ケア病棟を担当するスタッフの職種・人数(人)										
9	※常勤・非常勤、専従・専任・兼任など										
	に関わらず、緩和ケア病棟の診療に携 わっているスタッフについて記載してく どさい。										1
											_
	■地域の患者さんやご家族向けの間に	・合わせ窓口が設定されている	(はい/いいえ)								
10	窓口の名称										
	電話	代表				(内線)				直通	
	問い合わせ窓口について掲載しているホームページ	見出し					アドレス				
	■地域の医療機関向けの問い合わせ	窓口が設定されている (はい/	いいえ)								
11	窓口の名称										
	電話	代表				(内線)				直通	
	問い合わせ窓口について掲載しているホームページ	見出し					アドレス				
12	緩和ケア病棟の設備	例:家族用キッチン、家族室、談記	別:家族用キッチン、家族室、談話室、ランドリー、デイルーム(食事や面会者との談話、ボランティアによるティーサービスがある)、特殊入浴室								
		例:自施設で実施している、同	一医療法人の施設で実施してい	る、連携	してし	いる訪問看護ケアス	ステーションを	紹介してい	る、など		
13	訪問看護ケアの有無		例: 自施設で実施している、同一医療法人の施設で実施している、連携している訪問看護ケアステーションを紹介している、など 								

12/24 別紙5(緩和病棟)

小児がんに対して、手術、放射線療法または化学療法に携わる専門的な知識 および技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制

記載の有無 ※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

あり

病院名: 九州大学病院 時期・期間: 令和4年9月1日現在(実績は令和3年1月1日~12月31日)

■病院のホームペ・	ージで「セカンドオピニオン	」の説明が掲載されて	いるページの内容

ホームページ	見出し	セカンドオピニオン外来		アドレス	https://www.hosp.	kyushu-u.ac.jp/gairai/second/
問い合わせ先の 電話など	対応可能な 疾患名	ATACOTE IS A SECOND OF THE SEC		担当する医師の情報		保険診療、または
电前なこ	扶思石	(天根)	医師名	診療科	専門分野	保険外診療である旨
掲載あり	掲載あり	掲載なし	掲載なし	掲載なし	掲載なし	掲載あり

疾患ごとに、セカンドオピニオンを担当する医師に関する情報を5名まで記載してください。

※対応状況で「対応不可」を選択した場合は、「セカンドオピニオンを担当している医師」に関する表への記載は不要です。

小児脳腫瘍

	※別紙1を反映 ○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん		対応可	昨年の実績 ※令和3年1月1日~12月31日まで		1 件				
セカンドオピニオンを	所属している診療科	当該疾患に対する専門性	当該疾患の専門分野(専門: 〇/専門外:×)							
担当している医師	所属している砂様件	(専門:O/専門外:×)	手術	化学療法	放射線療法	その他※具体的に記載してください				
1人目	小児科	0	×	0	×					
2人目	脳神経外科	0	0	0	×					
3人目	脳神経外科	0	0	0	×					
4人目	脳神経外科	0	0	0	×					
5人目										

小児の眼・眼窩腫瘍

0	※別紙1を反映 ○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん	対応状況 (対応可/対応不可)	対応可	昨年の実績 ※令和3年1月1日~12月31日まで		0 件			
セカンドオピニオンを			当該疾患の専門分野(専門: O/専門外: ×)						
担当している医師	MAG CO GID MCFF	(専門: O/専門外: ×)	手術	化学療法	放射線療法	その他※具体的に記載してください			
1人目	小児科	0	×	0	×				
2人目	小児科	0	0	0	×				
3人目	眼科	0	0	×	×				
4人目	眼科	0	0	×	×				
5人目									

小児悪性骨軟部腫瘍

0	※別紙1を反映 ○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん	対応状況 (対応可/対応不可)	対応可	昨年の実績 ※令和3年1月1日~12月31日まで		1 件				
セカンドオピニオンを	所属している診療科	当該疾患に対する専門性		当該疾患の専門分野(専門:〇/専門外:×)						
担当している医師	別局とているが原行	(専門:○/専門外:×)	手術	化学療法	放射線療法	その他※具体的に記載してください				
1人目	小児科	0	×	0	×					
2人目	小児外科・成育外科・小腸移植外科	0	0	×	×					
3人目	整形外科	0	0	×	×					
4人目	耳鼻咽喉・頭頸部外科	0	0	×	×					
5人目	放射線科	0	×	×	0					

その他の小児固形腫瘍

0	※別紙1を反映 対応状況 ○・専門とするがん ×:診療を実施していないがん (対応可/対応不可) 対応可 ※令和3年1月1日~12月31日まで		1 件							
セカンドオピニオンを	所属している診療科	当該疾患に対する専門性	当該疾患の専門分野(専門: ○/専門外: ×)							
担当している医師	が高しているが原付	(専門: O/専門外: ×)	手術	化学療法	放射線療法	その他※具体的に記載してください				
1人目	小児科	0	×	0	×					
2人目	小児外科・成育外科・小腸移植外科	0	0	×	×					
3人目	脳神経外科	0	0	×	×					
4人目	耳鼻咽喉·頭頸部外科	0	0	×	×					
5人目	放射線科	0	×	×	0					

小児血液腫瘍

	※別紙1を反映 ○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん	対応状況 (対応可/対応不可)	対応可	昨年の実績 ※令和3年1月1日~12月31日まで		2 件				
セカンドオピニオンを	所属している診療科	当該疾患に対する専門性	当該疾患の専門分野(専門: 〇/専門外: ×)							
担当している医師	別属している砂原料	(専門: O/専門外: ×)	手術	化学療法	放射線療法	その他※具体的に記載してください				
1人目	小児科	0	×	×	×					
2人目	小児科	0	×	×	×					
3人目	放射線科	×	×	×	0					
4人目										
5人目										

13/24 別紙6(SO体制)

小児がんに関する研修の状況

記載の有無 ※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。 あり

病院名: 九州大学病院

時期・期間: 令和3年4月1日~令和4年3月31日

■令和3年4月1日~令和4年3月31日の期間で開催した研修会等の回数について記載すること

	主に院内の診療従事者向けに開催した研修会の 件数	主に院外の診療従事者向けに開催 した研修会の件数
小児がんの診療、相談支援、がん登録及び臨床試験等に関する研修会等の回数	10	28
うち小児がんの診療に関する研修会等の回数	5	17
うち小児がんの相談支援に関する研修会等の回数	0	2
うち小児がんのがん登録に関する研修会等の回数	0	0
うち小児がんの臨床試験に関する研修会等の回数	0	0
うち小児がんに関するその他の研修会等の回数	5	9

■研修の内容について記載すること

■研修の内容について記載すること ※ただし、参加人数については、自施設・自施設以外の内訳が不明である場合には、総数の欄にのみ記載し、自施設・自施設以外の欄は0を記入すること。 研修の終性数・

	38							
			参加人数			実施形態	他地域ブロックからの参加の可否	
				自施設以外			Oct 11 188 / 11 10 1	
研修の名称	研修の内容・特徴	自施設	小児がん 拠点病院	小児がん 連携病院	その他	総数	①実地開催のみ ②実地+オンラインの ハイブリッド開催 ③オンライン開催のみ	②同一地域ブロック内の施設のみ参加可能
小児・AYA世代のがんの長 1 期フォローアップに関する研 修会	小児・AYA世代(思春期・若年成人)のがんの長期フォローアップと小児から成人への移行期医療の重要性を 医師・看護師および関係職種の方々に認識していただく ことを目的とした研修会	12	9	11	25	57	2	•
2 小児緩和ケアチーム勉強会 特別講演	自施設および連携施設の医療従事者向けに小児緩和ケアに関する、診療、相談支援に関する講演を行っている	0	0	0	0	193	2	•
3 九州・沖縄ブロック小児がん 看護研修会	自施設および連携施設の小児がん看護に関わる看護師 向けに小児がん診療、看護、相談支援の研修会を行って いる	26	1	20	16	63	3	•
小児・AYA世代がん患者 に対する妊孕性温存セミナー	がん・生殖医療に関する最新の講演後に、小児がん患者 に対する妊孕性温存療法(がん・生殖医療)に関する現状 と課題に関して、九州・沖縄地区の各施設で、情報共有を 行う		1	20	24	55	3	•
5 小児がんのこどもの教育を 考える講演会	自施設および連携施設の小児がんの教育に関わる医療 従事者および教育関係者向けに講演会を行っている	0	0	0	0	419	3	•

14/24 別紙8(研修の状況)

がん相談支援センターの体制、相談件数と相談支援内容

記載の有無 ※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

あり

病院名:

九州大学病院 時期·期間: 令和4年9月1日現在

					相談	員基礎研修の受講	 状況	.l. IP 48 / +0=4 P	.l. 19 48 / 40 54 9
	職種	常勤/非常勤	専従/専任/その他※1	相談業務の 経験年数(年)	基礎研修 (1)	基礎研修 (2)	基礎研修 (3)※2	小児がん相談員 専門研修	小児がん相談員 継続研修※3
1	看護師	常勤	専従(8割以上)	4	受講	受講	未受講	受講	受講
2	子ども療養支援士	常勤	専従(8割以上)	5	受講	受講	未受講	受講	受講
3	看護師	常勤	専従(8割以上)	2	受講	受講	未受講	未受講	未受講
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									

- ※1 「その他」については、相談支援に関する業務に従事する時間が就業時間の5割未満である者について、選択してください。
- (公に)こっている。1日成人はに対する米がにはデする時間が未来時間が日本が高に対する場合といることがある。
 2 相談員基礎研修(3)については、小児がん規定病院および小児が心理情病院の指定にあたり必須の要件ではありません。
 ※3 小児がん相談員継続研修においては、平成31年1月1日~令和3年12月31日の期間で1回以上受講の実績がある場合に限り、「受講」を選択してください。

●年間の相談総件数(令和3年1月1日~12月31日)

上記1件あたりの平均対応時間

333 平均 30

ок

相談件数(令和3年1月1日~12月31日)

	相談者	計
-1	自施設の患者・家族	312
2	他施設の患者・家族	21
	合計	333

3	※がん	を援内容 、相談支援センターで最も力を注いでいる相談支援の内容について下記に5つあげてください。国立がん研究センターのサイト「がん情報サービス」の相談支援センターの紹介欄で 「る予定です。	相談支援の対象者	
ľ		がんの診療を行っている医療機関の紹介(70施設を対象に調査を行い、その資料をもとに医療機関の情報を提供しています。)	他施設の患者・家族	
	1	治療中から退院後の生活に関する心理・社会的支援	自施設と他施設 の患者・家族	ок
Ī	2	就学·復学、就労支援	自施設と他施設 の患者・家族	
Ī	3	きょうだいを含めた家族支援	自施設と他施設 の患者・家族	
	4	がんの治療・検査等における情報提供	自施設と他施設 の患者·家族	
	5	社会資源、医療費、在宅療養等に関する情報提供・利用支援	自施設と他施設 の患者・家族	

がん相談支援センターの問い合わせ窓口

記載の有無 ※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

あり

病院名: 九州大学病院 時期·期間: 令和4年9月1日現在

1	がん相談支援センターの名称	小児がん相談支援センター					
2	問い合わせ先電話番号		092-642-5200	(内線)			
	■対面相談の実施 (実施/未実施)	実施					
	予約の要否 (必要/不要)	不要					
3	■電話相談の実施 (実施/未実施)	実施					
	電話番号		092-642-5200	(内線)			
	予約の要否 (必要/不要)	不要					
	■FAX相談の実施(実施/未実施)	未実施					
	FAX番号	•					
4	■電子メール相談の実施 (実施/未実施)						
	メールアドレス ※個人のメールアドレスは記載しないでください		byiccsoudan@jimu.kyushu=u.ac.jp				_

小児がん患者およびその家族が語り合うための場の設定状況

記載の有無 ※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。 病院名: 九州大学病院 時期・期間: 令和4年9月1日現在 語り合うための場総実施回数(期間:令和3年1月1日~12月31日):

1 生 耂	・の六本人・	- 津淀合生で油性 アハスル!	日が/虫李田はし 小旧が/虫:	者およびその家族が語り合うためのも	旦について記載してノゼキい

1.,		日談文版・語演芸寺 (連担 「いる小児がん患者団体!						がん患者およびそ			場に	ついて
	連携している団体の名称	団体の参加対象者	具体的な連携内容	上段:語り合う場の名称 下段:主な活動内容	病院職員の	定期 /不定	状況 頻度 (回)	病名	別対象者 院外からの 参加可否	患者のみ /家族のみ		参加対象者向けの 院内の問い合わせ窓口 (窓口の名称・電話番号)
例	OOO会	小児血液腫瘍の患者およびその 家族	・月1回患者交流会を開催している。 ・市民講演会に演者として参加してもらっている。	〇〇〇会 小児がん患者の親の交流 会を開催している。	関与なし	定期	週 1	小児がん	参加可	/患者·家族 患者·家族	名称電話	相談支援センター XXX-XXX-XXXX直通
1	公益財団法人 がんの子 どもを守る会	小児がん患者、家族	・患者交流会を開催して いる。 ・市民公開講座を共催で 開催している。	交流会 相談会、交流会、経験者 の会、子どもを亡くした親 の会、毎月の定例会、九 州支部連絡会、日韓国際 交流	あり	不定期		小児がん	参加可	患者·家族	名称電話	
2	NPO法人にこスマ九州	小児がん患者、小児がん 経験者	・患者交流会を開催している。	にこスマキャンプ 小児がん(又はそれに準 ずる病気)を経験した子ど も達の交流キャンブを開 催	あり	不定期		小児がん	参加可	患者·家族	名称電話	
3	小児医療センターボラン ティア ゆめりんご	小児がん患者、家族	・付き添い家族の支援	ゆめりんごカフェ 第2水曜日14:00~15:30 付き添い家族へ手作り ケーキやコーヒーを提供。 その間子ども違には「映 写会」を開催。	あり	不定期		小児がん、その他	参加可	患者・家族	名称電話	<u></u> 患者サービス課 092-642-6272
4	小児医療センターボラン ティア すまいる	小児がん患者、家族	・付き添い家族の支援 ・小児がん患者へのイベント開催 ・講演会の共催	親の会すまいる お子さまが闘病中のご家 族とオンラインでつながっ て相談会やお話会を開催	あり	不定期		小児がん、その他	参加可	患者·家族	名称電話	患者サービス課 092-642-6272
5	福岡子どもホスピスプロ ジェクト	小児がん患者を亡くした 家族、きょうだい	・小児がん患者を亡くした 家族、きょうだいへの支 援	空にかかるはしご~グ リーフの会~ 小児がん患者を亡くした 家族が語り合う会	なし	不定期		小児がん、その他	参加可	患者·家族	名称 電話	
6											名称電話	
7											名称電話	
8											和称電話名	
9											称電話名	
10											電話	

2. 患者および家族向けの図書室の設置状況を記載してください。

※院内のがん相談支援センターなどの図書室について	て記載してください。院内図書室以外は3ページ目に記載してください。

	次がF100%70旧談文版でクターなどの四百里につい	にはまたしてくんことが、多いできる	成してたさい。阮内凶者主以外は3ペーン日に記載してくたさい。						
1	患者および家族向けの図書室の設置	設置あり	※「設置あり」の場合に限り、以下を記載してください。						
2	図書室の名称	愛の図書室							
3	図書室の説明が掲載されているページの見出しとアドレス	見出し	九州大学病院 ボランティ	ア委員会					
3	※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	アドレス	https://www.hosp.kyushu-	u.ac.jp/volunteer/ka	tsudou/index06.html				
4	利用者の制限 ※選択肢に含まれていない場合はその他の欄に記載		その他	患者さん及び付き流	たい家族				
	医療系の資料	区	書		雑誌	医療系の	医療系の		
5	ポポリリス 医学専門書 一般向け 医療系図書		医学専門 一般向け 雑誌 医療系雑誌		ビデオ・DVD	冊子			
3	冊数または種類の数	0	50冊未満	0	10種類未満	0	0		
	貸し出しの制限制限なし制限なし制限なし		制限なし	制限なし	制限なし	制限なし			
6	利用可能な機器	インターネット接	インターネット接続可能なパソコン		プリンター プリンター		コピー機		
U	가기거 및 NE/G-10支습과	設施	置なし	設	設置なし		i l		
7	問い合わせ先電話番号 ※電話番号は半角英数で「-」を用いて記載	代表	092-641-1	1151	(内線)	6272			
′	※内線は、設置されている場合のみ記載	直通1	092-642-6	6272	直通2				
		(例)看護師		1 人 ボランティア		•	2	Д	
8	対応職員の職種等・人数		人がランテ		ランティア		5	人	
				, ,				人	
9	ピアサポーターによる対応 (実施/未実施)	未	実施						

3. 院内のがん相談支援センターなどの図書室以外の場所に図書等が設置されている場合を記載してください。

1	院内図書室以外の場所に図書等の設置	設置なし	※「設置あり」の場合に限り、以下	を記載してください。				
2	図書等が設置されている場の名称							
3	図書室の説明が掲載されているページの見出しとアドレス	見出し						
	※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	アドレス						
	利用者の制限 ※選択肢に含まれていない場合はその他の欄に記載		その他					
	医療系の資料	区	書		雑誌	医療系の	医療系の	
5	公原示が見付	医学専門書	一般向け 医療系図書	医学専門 雑誌	一般向け 医療系雑誌	ビデオ・DVD	冊子	
J	冊数または種類の数							
	貸し出しの制限							

6	利用可能な機器	インターネット接続可能なパソコン		プリンター			リンター	コピー機			
,	-1-3/13 - 5 15C-0-166 IN										
7	問い合わせ先電話番号 ※電話番号は半角英数で「-」を用いて記載 ※内線は、設置されている場合のみ記載	代表					(内線)				
		(例)看護師		1 .	٨	ボラン	ティア			2	人
8	対応職員の職種等・人数				\						人
					٨.						人
9	ピアサポーターによる対応 (実施/未実施)							_			

18/24 別紙11(語り合う場)

長期滞在施設またはこれに準じる施設

記載の有無 ※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 九州大学病院

時期・期間: 令和4年9月1日現在

病院からの距離、施設内の設備(調理スペース、ランドリー、プレイルーム等)、人の配置等について記載すること。必要に応じて写真を貼付することも可。<u>1枚に</u> <u>おさめること。</u>

このシートに貼付することが難しい場合、ファイル名の頭に別紙12を付けた電子ファイル、別添資料を提出すること。

別添資料の提出有無

(あり/なし) なし

ファイル形式

(ワード/エクセル/パワーポイント/その他)





臨床研究の問い合わせ窓口

記載いるとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありませ

病院名: 九州大学病院

時期・期間: 令和4年9月1日現在 【 臨床研究(治験を除く) 】の問い合わせ窓口 ■臨床試験(治験を除く)に参加していない地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口の有無について 臨床試験(治験を除く)専用の窓口がある ※臨床試験専用の窓がある場合に限り、以下の表に記載してください 窓口の名称 ARO次世代医療センター患者さま窓口(外来診療棟 1階) 九州大学ARO次世代医療センター 「一般の方へ」 上記の窓口の説明が掲載されているページ 見出し ージからコピーしてください アドレス nttps://www.aro.med.kyushu-u.ac.jp/jppan/pamph.htm 代表 092-641-1151 (内線) 5858 電話 092-642-5858 直通 臨床試験(治験を除く)専用の窓口がある ■臨床試験(治験を除く)に参加していない地域の医療機関向けの問い合わせ窓口について ※臨床試験専用の窓がある場合に限り、以下の表に記載してください 窓口の名称 ARO次世代医療センター患者さま窓口(外来診療棟 1階) 九州大学ARO次世代医療センター 見出し 上記の窓口の説明が掲載されているページ ※アドレスは、手入カせずにホームページからコピーしてください アドレス 代表 092-641-1151 (内線) 5858 電話 092-642-5858 直涌 【 臨床試験以外の小児がんに関連する臨床研究】の問い合わせ窓口 臨床試験以外の小児がんに関する臨床研究専用の窓口がある ■臨床試験以外の小児がんに関する臨床研究に参加していない地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口の有無について ※臨床研究専用の窓がある場合に限り、以下の表に記載してください ARO次世代医療センター患者さま窓口(外来診療棟 1階) 窓口の名称 上記の窓口の説明が掲載されているページ ※アドレスは、手入カせずにホームページからコピーしてください 見出し 九州大学ARO次世代医療センター 「一般の方へ」 アドレス 代表 092-641-1151 (内線) 5858 雷託 直通 092-642-5858 臨床試験以外の小児がんに関する臨床研究専用の窓口がある ■臨床試験以外の小児がんに関する臨床研究に参加していない地域の医療機関向けの問い合わせ窓口について ※臨床研究専用の窓がある場合に限り、以下の表に記載してください ARO次世代医療センター患者さま窓口(外来診療棟 1階) 九州大学ARO次世代医療センター 「一般の方へ」 上記の窓口の説明が掲載されているページ 見出し ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください アドレス nttps://www.aro.med.kyushu-u.ac.jp/ippan/pamph.htr 代表 092-641-1151 (内線) 5858 電話 092-642-5858 直涌 【 治験 】の問い合わせ窓口 ■治験に参加していない地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口について 治験専用の窓口がある ※治験専用の窓がある場合に限り、以下の表に記載してください。 ARO次世代医療センター患者さま窓口(外来診療棟 1階) 窓口の名称 上記の窓口の説明が掲載されているペー 見出し カ州大学ARO次世代医療ヤンター 「一般の方 ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください アドレス (内線) 代表 92-641-1151 5858 092-642-5858 直通 治験専用の窓口がある ■治験に参加していない地域の医療機関向けの問い合わせ窓口について ※治験専用の窓がある場合に限り、以下の表に記載してください ARO次世代医療センター患者さま窓口(外来診療棟 1階) 窓口の名称 上記の窓口の説明が掲載されているページ 見出し 九州大学ARO次世代医療センター ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください アドレス (内線) 5858 代表 92-641-1151 092-642-5858

> 20/24 別紙13(臨床研究窓口)

医療の質の継続的な評価改善の取組について

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 九州大学病院

時期・期間: 令和4年9月1日現在

(はい/いいえ)

■自施設の診療機能や診療実績、	地域連携に関する実績や活動状況の他	、患者QOLについて把握・評価し	、課題認識を院内の
関係者で共有した上で、組織的なる	改善策を講じる体制について、地域に対し	で行っている情報提供を記載して	こください。

①院内の見やすい場所に掲示している いいえ ②院内誌、チラシ等で広報している

(はい/いいえ) いいえ ③ホームページに掲載している はい (はい/いいえ)

④ホームページに掲載している場合、該当するページのアドレスを記載してください

⑤地域の広報誌等で広報している

⑥その他の方法で掲載している

⑦その他の方法がある場合、内容を記載してください

https://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/info/satisfaction_survey/

いいえ (はい/いいえ) いいえ (はい/いいえ)

■自施設の診療機能や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、患者QOLについて把握・評価し、課題認識を院内の 関係者で共有した上で、組織的な改善策を講じる体制について、必要に応じて図表などを活用し、具体的に記載すること。

PDCAを使って改善することを想定している課題(いくつでも可)

	果題の内容	目標	目標達成の検証方法(データ源)
例)		退院患者の80%が入院治療環境に 満足する	3カ月おきに日を設定して患者アンケートを行う。
1	思有両定度の 向上	指す	年に1度、当院にかかっているすべての患者さんを対象にアンケートを行う。
2	提供体制の質	九州・沖縄ブロックの小児がん患者さんが診断を受けた後、速やかに治療ができる体制を整える	小児がん拠点病院QI、小児がん連携病院QIを算定する。
3			
4			
5			

上記の目標に向けた活動計画の予定(未定の場合には、未定と記入)

1	公益財団法人日本医療機能評価機構 患者満足度・職員やりがい度活用支援プログラムに参加。
	各施設のQIデータを検証し九州沖縄ブロックの小児がん診療施設の質の評価を行い、各施設の強みを生かした連携を強化する。 また、底上げが必要な項目は研修会を企画する。
3	
4	
5	

このシートに貼付することが難しい場合、ファイル名の頭に別紙14を付けた電子ファイル、別添資料を提出すること。

別添資料の提出有無	なし	(あり/なし)
ファイル形式		(ワード/エクセル/パワーポイント/その

他) その他の場合ファイル形式を記載してください。

医療安全体制

記載の有無※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

あり

病院名: 九州大学病院

時期・期間: 令和4年9月1日現在

●医療に係る安全管理を行う部門の名称、メンバーについて記載すること。個人情報を記載しないよう注意すること。

注1)研修医は除いてください。

医療に係る安全管理を行う部門の名称医療安全管理部

注2) 常勤とは、当該医療機関が定める1週間の就業時間のすべてを勤務している者をいいます。ただし、当該医療機関が定める就業時間が32時間に満たない場合 は常勤とみなしません。(「医療法第21条の規定に基づく人員の算出に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号、厚生 省健康政策局長・医薬安全局長連名通知)の別添「常勤医師等の取扱いについて」を参照)

注3)「専従」および「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務に従事している者 をいいます。 「その他」については、「5割未満」の場合に選択してください。

注4「医療安全管理者の業務指針および養成のための研修プログラム作成指針」(平成19年3月30日付け医政発0330019号厚生労働省医政局長通知及び薬食発 第0330009号厚生労働省医薬食品局長通知)に基づく研修を想定しています。

医療に係る安全管理を行う部門のメンバー								
_		職種	常勤 /非常勤	専従/専任/その他	医療安全に関する研修の受講状況(注4)			
					受講した	:研修名	研修主催者名	修了日
1	部門長	医師	常勤	専従(8割以上)	(神師を担当)		(公社)日本看護協会	2022年7月1日~ 2023年1月29日
2		医師	常勤	その他(5割未満)	2021年度 特定機能症 続]		(公財)日本医療機能評 価機構	2022年1月25日
3		医師	常勤	その他(5割未満)				
4		看護師	常勤	専従(8割以上)	2021年度医療安全管理	理者養成研修	(公社)日本看護協会	2022年1月23日
5	1 /	看護師	常勤	専従(8割以上)				
6		看護師	常勤	専従(8割以上)	2022年度医療安全管理 受講中	理者養成研修	(公社)日本看護協会	2022 年7月1日~ 2023年1月29日
7		薬剤師	常勤	専従(8割以上)	令和3年度医薬品安全 会、2021年度医療安全		(一社)日本病院薬剤師 会、(一社)医療の質・安 全学会	2021年11月12日、 2021年12月12日
8	1 /	医師	常勤	その他(5割未満)				
9	1 /	薬剤師	常勤	その他(5割未満)	令和3年度医薬品安全	管理責任者等講習会	(一社)日本病院薬剤師会	2021年11月12日
10		その他	常勤	その他(5割未満)	2022年度医療安全管理 (講師を担当)	里者養成研修	(公社)日本看護協会	2022年7月1日~ 2023年1月29日
11	1 /	医師	常勤	その他(5割未満)				

その他(5割未満)

その他(5割未満)

その他(5割未満)

その他(5割未満)

その他(5割未満)

その他(5割未満)

その他(5割未満)

その他(5割未満)

■上記一覧の職種において「その他」を選んだ場合、下記に詳細を記入してください。

常勤

常勤

常勤

常勤

常勤

常勤

常勤

常勤

常勤

	職種		
例	臨床工学技士(上記リスト6番)		
1	大学院医学研究院教員(上記リスト10番)		
2	臨床検査技師(上記リスト19番)		
3			
4			
5			

●医療安全のための患者窓口

12

13

14

15

16

17

18

19

20

医師

医師

医師

医師

医師

医師

その他

医師

● 医療女主の7_cのの志名志口								
窓口の名称		患者相談支援室						
電話	直通	092-642-5512						
电动	代表	092-641-1151	(内線)	5512				

様式3(病院機能)の該当指定要件のAのうち満たしていない項目について

記載の有無 ※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 九州大学病院 時期·期間: 令和4年9月1日時点

※様式3(病院機能)の該当指定要件のAのうち満たしていない項目について、満たしていない項目とその理由と今後の見通し等について具体的に記載してください。 ※通し番号については、様式3(病院機能)シートのL列の番号を記入してください。 ※令和4年9月2日以降に、要件の充足状況に変動があった場合には、別途、文書で厚生労働省健康局がん・疾病対策課へ届け出てください。

	通し番号	令和4年9月1日時点で満たせていない要件	現状の説明	充足見込み時期
例	96	有する看護師の常勤の人数	○月○日付けで専門的な知識及び技能を有する看護師が退職し、9月1日時点で配置できていない状況である。	令和4年10月1日時点で、緩和ケアに携わる専門的な知識および技能を有す る看護師を新規採用し、緩和ケアチームに配置した。詳細は別添の要件再充
例	115	放射線療法に関する機器を設置すること。ただし、当該機器は、リニアックなど、体外照射を行うための機器であること。	〇月からリニアックの機器入れ替えがあり、9月1日時点で利用できる機器がない。	令和4年11月末日までに、リニアックの入れ替えが完了し、治療再開できる見通しである。
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				